

基本目標 1 > 変化する福祉ニーズの的確な把握と対応

【推進項目 1】調査研究・提言活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①調査研究活動の充実	ア) 協働した調査研究活動の実施 「生活支援相談員から見る避難住民生活の現状調査（第三回）」の実施、分析 調査目的：東日本大震災から3年を経過し、長期化する避難生活により住民生活はどのような状況にあり、またどのように変化しているのか、生活支援相談員の視点からあらためて明らかにし、今後必要とされる生活支援策を提言していく。 調査期間：1月15日～31日 調査対象：県内市町村社会福祉協議会配置の生活支援相談員（205名） 回答数：185名
②提言活動の充実	ア) 調査結果に基づいた提言活動の実施 「生活支援相談員から見る避難住民生活の現状調査（第二回）」の結果に基づく提言活動の実施 1. 調査報告書の作成 部数：700部 配布先：市町村社協、市町村社会福祉主管課、県内地域包括支援センター等 2. 調査結果の周知 本会発行情報誌「はあとふるふくしま」（4月号）の特集として、「長期化する避難生活で見えてきたもの」と題し、調査結果を掲載した他、関連会議等で調査結果説明等を行った。
イ) 社会福祉施策促進委員会の活動の検討	総合企画委員会を中心とした政策要望及び予算要望の取りまとめ 1. 総合企画委員会の開催 【第1回】 期日：7月10日 内容：県議会各会派に対する制度要望及び政策提言案の立案について 活動推進計画の進捗状況について 【第2回】 期日：9月2日 内容：県議会各会派に対する制度要望及び政策提言案の立案について 2. 県議会各会派への制度要望及び政策提言活動の実施 期日：9月17日・20日 会派：公明党福島県議会議員団、自由民主党福島県議会議員会、福島県議会民主・県民連合 日本共産党福島県議会議員団、福島県議会「福島・みどりの風」（順不同） 結果：県議会2月定例会において「情緒障害児短期治療施設の早期設置に関する請願」が採択される 3. 県保健福祉部への予算要望及び制度要望活動の実施 要望書提出：9月6日 要望提出先：県保健福祉部長、県子育て支援担当理事 要望提出団体：10団体 要望に対する個別回答：10月11日

ウ) 種別部会・協議会との連携・協働による提言活動の検討

本会各種別部会・協議会との協働による要望活動の実施

各部会・協議会からの推薦者が委員を務める総合企画委員会にて、各種別からの意見を取りまとめ、
上記２．の活動を実施。

基本目標 2＞ その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(1) 生活福祉資金貸付事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）

事業報告

①適切な貸付の実施

ア) 貸付相談への的確な対応

生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金の貸付実施

1. 資金の貸付の実施

(1) 総合支援資金 ※金額には、増額決定分を含む

①生活支援費	42 件	30,066,000 円
②住宅入居費	7 件	976,766 円
③一時生活再建費	4 件	795,000 円
〔合計〕	53 件	31,837,766 円

(2) 福祉資金

①福祉費	27 件	15,074,000 円
②緊急小口資金	307 件	22,874,000 円
〔合計〕	334 件	37,948,000 円

(3) 教育支援資金 102 件 95,118,000 円

(4) 不動産担保型生活資金 0 件 0 円

(5) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金

1 件 9,093,000 円

(6) 臨時特例つなぎ資金 16 件 818,000 円

(6) 生活復興支援資金 ※福祉資金福祉費の特例貸付

①一時生活支援費	0 件	0 円
②生活再建費	1 件	425,000 円
③住宅補修費	2 件	3,150,000 円
〔合計〕	3 件	3,575,000 円

生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

【第 1 回】

期日：4 月 23 日

内容：要保護世帯向け不動産担保型生活資金審査 他

【第 2 回】

期日：8 月 27 日

内容：不動産担保型生活資金償還猶予審査 他

【第 3 回】

期日：12 月 24 日

内容：高等学校に在学する者の授業料等の滞納に係る教育支援資金について（報告） 他

【第 4 回】

期日：3 月 18 日

内容：平成 25 年度生活福祉資金貸付状況について（報告） 他

②債権管理の充実

ア) 滞納世帯の生活状況把握

滞納債権の管理

1. 債権管理の強化

(1) 滞納債権償還督促通知の送付

期日：5月15日

- | | |
|------------|---------|
| ①生活福祉資金 | 13,519件 |
| ②離職者支援資金 | 57件 |
| ③総合支援資金 | 569件 |
| ④臨時特例つなぎ資金 | 73件 |

期日：11月18日

- | | |
|------------|---------|
| ①生活福祉資金 | 14,855件 |
| ②離職者支援資金 | 58件 |
| ③総合支援資金 | 620件 |
| ④臨時特例つなぎ資金 | 74件 |

(2) 滞納世帯に対する償還指導（債権件数）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ①電話による対応 | 260件 |
| ②借受世帯訪問 | 494件 |
| ③償還滞納世帯面接会 | 225件 |
| (3) 償還猶予の実施 | 6件 |
| (4) 延滞利子免除の実施 | 2件 |
| (5) 償還免除の実施 | 68件（うち、緊急小口資金（特例貸付）45件） |

緊急小口資金（特例貸付）の債権管理

1. 償還等に関する電話相談 2,065件
2. 宛先不在世帯の住所等調査 448件
3. 滞納債権償還督促通知（第1回）宛先不在等による返送通知の再発送 348件
4. 滞納債権償還督促通知（第2回）の送付
送付数 13,630件
宛先不在等による返送 1,123件
住所等再調査による再発送 491件
5. 最終償還期限到来のお知らせの送付
送付数 19,885件
宛先不在等による返送 1,315件
住所等再調査による再発送 2件
6. 償還免除の実施 45件（再掲）

③実施体制の整備

ア) 相談機能の充実

市町村社協担当職員研修会の開催

1. 生活福祉資金新任担当職員事務取扱説明会

期日：5月2日 参加者：33名（県総合社会福祉センター）

2. 生活福祉資金担当職員研修会

期日12月3日 参加者：41名（県総合社会福祉センター）

会議・研修会等への参加

1. 生活福祉資金担当部課長会議（4月24～25日 東京都）
2. 全国生活福祉資金貸付事業担当者研修会（7月29～30日 東京都）
3. 北海道・東北ブロック生活福祉資金貸付事業運営協議会（9月10日～11日 福島市）
4. 全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会（10月31日～11月1日 東京都）

関係機関との連携

1. 第1回福島県生活福祉・就労支援協議会（6月13日 福島市）
2. 福島県多重債務者対策協議会（11月20日 福島市）
3. 関係機関・団体等への生活福祉資金貸付制度説明
 - ①生活福祉資金貸付調査委員会（6月28日 二本松市）
 - ②喜多方市民生児童委員連合会 生活福祉部会研修（7月23日 喜多方市）
 - ③新地町民生児童委員協議会定例会（7月30日 新地町）
 - ④いわき市新任民生委員・児童委員研修会（1月30日 いわき市）
 - ⑤いわき市中堅民生児童委員研修会（2月12日 いわき市）
 - ⑥泉崎村民生児童委員協議会定例会（2月25日 泉崎村）

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(2) 母子家庭等就業・自立支援センター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）

事業報告

①無料職業紹介事業の充実

ア) 就業相談体制の充実

職業相談会の実施（通年）

1. 就職相談会の開催(5 方部) 相談人数計 74 人(30 回)

(1) 福島会場（県総合社会福祉センター）

期日：4 月 18 日、5 月 16 日、6 月 21 日、7 月 19 日、8 月 22 日、9 月 20 日、10 月 15 日
11 月 21 日、12 月 19 日、1 月 23 日、2 月 20 日、3 月 20 日

相談人数計 30 人(12 回)

(2) 須賀川会場（県中保健福祉事務所）

期日：5 月 8 日、7 月 10 日、9 月 11 日、11 月 13 日、1 月 8 日、3 月 12 日

相談人数計 16 人(6 回)

(3) いわき会場（いわき市総合保健福祉センター）

期日：4 月 24 日、8 月 28 日、10 月 23 日、2 月 26 日

相談人数計 14 人(4 回)

(4) 会津若松会場（会津保健福祉事務所）

期日：4 月 11 日、6 月 13 日、8 月 8 日、10 月 10 日、12 月 12 日

相談人数計 11 人(5 回)

(5) 南相馬会場（相双保健福祉事務所）

期日：5 月 22 日、7 月 24 日、9 月 25 日

相談人数計 3 人(3 回)

広報・啓発事業の実施

1. ひとり親支援カードの作成・配布

配布先：児童扶養手当受給者（市役所経由） 17,150 枚

県政情報コーナー設置一部店舗 97 店舗

2. 求人（事業所）向けリーフレットの作成

作成部数 3,000 枚

3. 求職者向けリーフレットの作成

作成部数 32,000 枚

4. 医療・健康専門フリーペーパー「ぶるぶる vol.9・10」（夏・秋号）の広告掲載

5. 新聞掲載記事（ひとり親支援カード配布） 11 月

会議・研修会等への参加（随時 通年）

1. ひとり親就業サポート強化事業とひとり親家庭等在宅就業支援事業との連携推進打ち合わせ会議
（6 月 6 日、10 月 25 日 福島市 福島県主催）

2. 平成 25 年度母子自立支援員等業務研修会（7 月 12 日 福島市 福島県主催）

3. ひとり親就業サポート強化事業内容説明訪問

（5 月 22 日 ハローワーク相双・相馬、相馬市役所、南相馬市社協）

4. 平成 25 年度ハローワーク二本松管内生活福祉・就労支援協議会
(7 月 24 日 ハローワーク二本松)
5. 平成 25 年度東北・北海道ブロック母子家庭等就業・自立支援センター職員養成セミナー
(11 月 14 日 福島市)
6. ひとり親家庭等在宅就業支援事業集合研修 (12 月 県内 9 会場、2 月 県内 3 会場)
7. ひとり親家庭等在宅就業支援事業平成 24・25 年度訓練修了合同セミナー
(2 月 9 日 福島市、2 月 16 日 郡山市)

イ) 求人情報の提供

就業情報提供事業の実施(随時 通年)

- | | | |
|--------------|--------------------|---------------|
| 1. 新規求人件数 | 405 件 (405 件) | ※ () 内は前年度実績 |
| 2. 求職相談件数 | 3,515 件 (2,728 件) | |
| 3. 新規求職登録人数 | 348 人 (407 人) | |
| 4. 紹介状発行件数 | 101 件 (93 件) | |
| 5. 就職人数 | 151 人 (123 人) | |
| うち常用雇用就職人数 | 43 人 (33 人) | |
| 6. 求人情報等提供件数 | 4,672 件 (2,445 件) | |

ウ) 求人の開拓

求人の開拓(随時 通年)

- | | | |
|-------------------|------------------|---------------|
| 1. 企業開拓訪問(求人開拓)件数 | 1,096 件 (694 件) | ※ () 内は前年度実績 |
| 2. マッチング件数 | 15 件 (25 件) | |
| 3. アフターフォロー実施数 | 11 件 (13 件) | |

②就業意識の啓発と能力開発事業の充実

ア) 自立に向けた就業意識の向上

ひとり親自立支援プログラム策定事業の実施(計画:50 人 通年)

- | | | |
|---------------------------|----------------|---------------|
| 1. プログラム作成人数 | 80 人 (89 人) | ※ () 内は前年度実績 |
| 2. 面接実施件数 | 174 件 (162 件) | |
| 3. 生活保護受給者等就労自立促進事業への移行人数 | 47 人 (33 人) | |
| 4. 就職人数 | 53 人 (58 人) | |

イ) 能力開発のための講習会の実施

講習会の実施

1. 「ほめ達!」講演会 (6 月 22 日 郡山市 受講者 3 名)
2. 応募書類作成セミナー (9 月 7 日・2 月 8 日・3 月 19 日 福島市、9 月 21 日 郡山市 受講者 7 名)
3. パソコンスキル取得サポートサービス (8 月～2 月 郡山市 受講者 3 名)
4. 面接対策セミナー (2 月 22 日 福島市 1 名)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(3) 地域生活定着支援センター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）						
事業報告						
①地域生活定着支援センター事業の実施						
ア) 特別調整対象者等への支援						
コーディネート業務・フォローアップ業務						
1. 特別調整対象者等の依頼人数						
16 名（高齢 5、知的 7、精神 3、難病 1）						
※県内保護観察所からの依頼 12 名、県外保護観察所等からの依頼 4 名						
2. 退所後の受入先帰住（平成 24 年度特別調整対象者も含む）						
18 名（高齢 7、知的 6、精神 4、身体 1）						
3. 面接・支援実施状況（面接、訪問調整等）						
矯正施設面接	市町村（行政）	相談事業所	受入施設等	その他の機関	退所後対応	合計
70	41	20	21	36	136	324
相談支援業務						
1. 相談支援ケース（5 ケース）						
2. 面接・ケア会議対応状況（11 回）						
ワーキンググループ（仮称）の開催【新規】						
ワーキンググループのメンバー構成や開催方法について、これまでの事例を参考に検討し、平成 26 年度から 3 方部で開催することとした。（保護観察所の職員の人事異動等もあることから実施は平成 26 年度とした。）						
広報啓発活動						
1. 研修・セミナーの開催						
（1）罪を犯した高齢者・障がい者を地域で支援するためのセミナー						
期日：10 月 28 日 参加者：218 名						
会場：福島県青少年会館						
内容：福祉、司法関係者を対象として、罪を犯した高齢者・障がい者を地域支援するための専門的知識・技術習得を目的として開催した。						
2. 会議・研修等での周知活動						
（1）地域包括・在宅介護支援センター協議会初任職員研修（6 月 5 日 郡山市）						
（2）地域包括・在宅介護支援センター協議会現任職員研修（10 月 11 日 郡山市）						
（3）県北精神保健福祉士等研修（11 月 26 日 福島市）						
（4）障がい者相談支援（障がい者マネジメント）従事者専門コース別研修（1 月 23 日 二本松市）						
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容						
会議の開催						
1. 福島県地域生活定着支援センター運営推進委員会（2 月 14 日 福島市）						

会議・研修等への参加

1. 関係会議・研修等への参加

- (1) 会津若松市相談支援専門研修 (4月15日 会津若松市)
- (2) 特別調整等にかかる関係機関担当者会議
 - 【第1回】 6月18日 福島市
 - 【第2回】 12月25日 福島市
- (3) 全国地域生活定着支援センター協議会総会 (6月22日 東京都)
- (4) 榎本クリニック開院記念講演会 (6月27日 東京都)
- (5) 福島市障がい者地域生活支援協議会 (7月3日 福島市)
- (6) 共生社会を創る愛の基金第2回シンポジウム (7月15日 東京都)
- (7) 地域生活定着促進事業都道府県担当者会議 (7月30日 東京都)
- (8) 福島県弁護士会との協議会 (8月20日 福島市)
- (9) 北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター長会議 (8月21日 福島市)
- (10) 全国地域生活定着支援センター協議会現任者スキルアップ研修検討会議 (9月7日 東京都)
- (11) 地域生活定着支援センター社協関係者連絡会議 (10月1～2日 岡山県)
- (12) 北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター会議及び事例研修会
 - 【第1回】 10月29日 福島市
 - 【第2回】 12月2日 札幌市
- (13) 榎本クリニック開院記念講演会 (11月14日 東京都)
- (14) 県障害者総合福祉センター市町村知的障がい担当者研修会 (11月22日 郡山市)
- (15) 地域生活支援を行う施設職員等研修会 (11月27～29日 群馬県)
- (16) 刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会 (12月3日 札幌市)
- (17) 矯正施設退所者支援のための福祉関係者等職員研修会 (12月16日 仙台市)
- (18) 第4回現任者スキルアップ研修 (1月22～23日 千葉県)

2. その他

- (1) 早稲田大学研修室による「地域生活定着支援センター業務」ヒアリング (6月11日 福島市)
- (2) 福島自立更生促進センター視察 (8月21日 福島市)
- (3) 自立準備ホーム委託説明訪問 (8月26日 郡山市)
- (4) 障害者支援施設「かりいほ」視察 (9月5日 栃木県)
- (5) 国立重度知的障害者総合施設「国立のぞみの園」視察 (11月13日 群馬県)
- (6) よりそいネットおおさかによる「厚生保護施設及び更生保護施設入所者・退所者の実態に関する調査」ヒアリング (11月22日 福島市)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(4) 生活復興ボランティアセンター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①被災者・避難者の生活支援
ア) 生活支援相談員の階層・テーマ別研修の実施
生活支援相談員基礎研修
期日：5月16日～17日 参加者：60名（県総合社会福祉センター）
生活支援相談員チーフ研修
期日：10月1日～2日 参加者：36名（県総合社会福祉センター）
生活支援相談員テーマ別研修
【第1回】期日：8月20日 参加者：73名（県総合社会福祉センター）
【第2回】期日：11月28日 参加者：47名（県総合社会福祉センター）
【第3回】期日：12月19日 参加者：52名（ビッグパレットふくしま）
【第4回】期日：3月10日 参加者：29名（県総合社会福祉センター）
イ) 生活支援に関する情報共有や事例検討の実施
【新規】生活支援相談員状況報告会議
期日：3月7日 参加者：74名（県総合社会福祉センター）
生活支援相談員事例検討会議
方部別に実施（延べ実施回数：15回） 参加者：294名
ウ) 生活支援相談員活動の総合的支援
避難元及び避難先社協の地区連絡会議
方部別に実施（延べ実施回数：87回） 参加者数：878名
統括生活支援相談員巡回訪問事業
市町村社協・生活支援相談員活動支援（延べ実施回数：48回）
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容
全国・他県被災地との連絡会・セミナーへの出席等
関係会議・研修会等への参加及び協力
1. 福島県居住支援協議会連絡会議（4月16日 福島市）
2. 日本医療社会福祉協会全国大会（5月17日 大阪府）
3. JCN 現地会議in福島（6月21日 福島市、9月13日 会津若松市、12月13日 郡山市）
4. 県相談支援専門職チームとの連携（代表者会議）（7月31日、12月6日、3月27日 郡山市）
5. 復興に向けた多様な主体との協働推進戦略会議（5月30日、7月24日 福島市）
6. ピースセミナー in 福島 2013（9月30日 いわき市）
7. 日本地域福祉学会東北部会シンポジウム（11月23日 岩手県）
8. 柏崎市災害復興住宅現地調査及び新潟県社協、柏崎市社協との懇談会（12月10～11日 新潟県）

9. 市民公開セミナー「東日本大震災の今～これからの生活支援～」(12月14日 郡山市)
10. 広域災害福祉支援ネットワーク協議会ワーキングチーム(1月31日、2月26日 郡山市)
11. 分かち合いセミナー 「ふくしまの 今を知り これからを考える」(2月11日 東京都)
12. 復興創造フォーラム 21014 (3月8日 いわき市)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(5) 生活困窮者自立促進支援モデル事業 《追加事業》

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）				
事業報告				
①生活困窮者の自立支援				
ア) 自立支援相談モデル事業の実施				
福島県生活困窮者自立促進支援モデル事業検討委員会の開催				
【第 1 回】				
期日：1 月 23 日				
内容：生活困窮者自立支援事業をめぐる政策動向について				
委員の課題認識の共有について				
今後の検討委員会の進め方について				
【第 2 回】				
期日：2 月 18 日				
内容：生活困窮者を取り巻く現状と課題の整理				
【第 3 回】				
期日：3 月 26 日				
内容：平成 25 年度生活困窮者自立促進支援モデル事業結果報告書について				
平成 25 年度生活困窮者自立促進支援モデル事業結果報告会の開催				
1. 結果報告会の開催				
期日：3 月 26 日 参加者：72 名				
会場：ビッグパレットふくしま				
内容：行政説明、結果報告、シンポジウム				
生活困窮者自立促進支援モデル事業の広報・啓発				
1. モデル事業結果報告書の作成・配布 1,000 部				
2. リーフレットの作成・配布 3,000 部				
相談支援員の配置、定期・随時相談会実施				
1. 相談支援員の配置				
主任相談支援員 1 名 相談支援員 2 名				
2. 民生委員による対象世帯の把握（4 町村） 計 49 世帯				
3. 定期相談（相談件数） 計 11 件				
市町村行政や市町村社協主催の既存事業である「心配ごと相談所」を活用し実施。				
	桑折町	国見町	川俣町	大玉村
第 1 回	3 月 18 日 (2 件)	3 月 13 日 (0 件)	3 月 12 日 (0 件)	3 月 17 日 (3 件)
第 2 回	3 月 25 日 (1 件)	3 月 27 日 (1 件)	3 月 19 日 (3 件)	3 月 24 日 (1 件)
4. 自宅訪問等による随時相談 3 件				
【川俣町】 1 月 17 日、1 月 28 日、2 月 4 日、2 月 20 日				
【桑折町】 3 月 12 日				

個人毎の支援計画策定、支援調整会議開催

1. 利用申し込み件数 6 件
2. 支援調整会議の実施件数 2 件 (3 月 24 日 川俣町)
3. プラン策定件数 2 件

先進地視察

1. 12 月 13 日 青森県社会福祉協議会
2. 1 月 31 日～2 月 1 日 秋田県藤里町 (小さな町で輝く社協に学ぶ福祉研修)
3. 2 月 24 日～26 日 滋賀県社会福祉協議会、大津市社会福祉協議会、高島市社会福祉協議会、東近江市社会福祉協議会、兵庫県社会福祉協議会、京都府社会福祉協議会

会議・研修等への参加

1. 地域生活支援ワーカー (地域福祉コーディネーター) リーダー研修会 (2 月 5 日～6 日 東京都)
2. 生活困窮者自立促進支援モデル事業第 3 回北海道・東北ブロック会議 (2 月 10 日 岩手県)
3. 生活困窮者自立支援シンポジウム (2 月 11 日 岩手県)
4. 生活困窮者自立促進支援モデル事業推進会議 (3 月 7 日 東京都)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(1) あんしんサポート事業（日常生活自立支援事業）

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①全市町村社協実施 ア) 業務説明会等の開催 市町村社協への業務委託（4月～3月） 全市町村社協へ業務を委託
市町村社協連絡会議 期日：7月9日 参加者：41名 内容：平成24年度事業実施状況、平成25年度事業実施内容、県に対する要望事項、業務フロー、成年後見制度と社会福祉協議会、生活支援員の改選について 等
市町村社協方部別連絡会議（5地区 11月） 地区の特性等を考慮した事業の円滑な遂行を図る。 県北方部：3月18日 県中方部：3月17日 県南方部：3月14日 会津方部：3月20日 南会津方部：3月3日 いわき相双方部：3月7日
相談対応、契約等支援（随時 通年） 新規ケースや困難ケースに対する同行及び運営支援 福島市社協（4月22日） 会津坂下町社協（6月13日） 飯舘村社協（6月14日、6月20日、7月12日） 三春町社協（6月19日、7月4日） 桑折町社協（7月25日、8月8日、8月22日） 磐梯町社協（8月27日） 下郷町社協（12月5日、12月18日、1月15日） 大熊町社協（12月26日、1月20日、2月7日）
市町村社協への現地確認（随時 通年） 上記支援に際し現状確認を実施。
契約締結審査会（6回 5月・7月・9月・11月・1月・3月） 契約締結能力に疑義があるケースについて専門的見地から審査会を開催し適切な支援に努める。 【第1回】 期日：5月14日 内容：委員長・副委員長の互選 平成25年3月～4月の契約ケース13件、解約ケース13件の協議等 【第2回】 期日：7月9日 内容：平成25年5月～6月の契約ケース17件、解約ケース6件の協議等 【第3回】 期日：11月12日

内容：平成 25 年 9～10 月の新規ケース 13 件、解約ケース 6 件の協議等 【第 4 回】 期日：1 月 14 日 内容：平成 25 年 11～12 月の新規ケース 16 件、解約ケース 10 件の協議等 【第 5 回】 期日：3 月 11 日 内容：平成 26 年 1～2 月の新規ケース 14 件、解約ケース 7 件の協議等
県への予算確保の要望活動（1 回 6 月） 市町村社協連絡協議会との連携による、県知事への日常生活自立支援事業に関する要望書提出 期日：7 月 11 日 対応者：県保健福祉部次長
イ）事務軽減の検討実施 本事業実施様式の一部改正（5 月） 様式の一部変更を含め、業務フローチャートを作成し市町村社協の円滑な業務実施を図り、市町村社協連絡会議等において説明を行なった。
②関係者が潜在的利用者を発掘する取り組み ア）市町村社協担当職員の相談援助技術の向上 市町村社協新規専門員及び担当職員業務内容説明会（1 回 4 月） 市町村社協新規専門員研修会 期日：5 月 14 日 参加者：22 名 会場：県総合社会福祉センター 内容：あんしんサポートと成年後見制度の概要 あんしんサポート社協専門員（担当者）としての業務内容について
担当職員研修会（1 回 9 月） あんしんサポート担当職員研修会・コミュニティソーシャルワーク研修会 期日：9 月 26 日～27 日 参加者：23 名 内容：事例検討をする意義と方法、コミュニティソーシャルワークについて あんしんサポート事例検討会 【第 1 回】 期日：11 月 12 日 参加者：23 名 【第 2 回】 期日：1 月 14 日 参加者：15 名 【第 3 回】 期日：3 月 11 日 参加者：14 名
生活支援員新規委嘱者研修会 1. 新規生活支援員への事業理解を図るため、事業の基本的内容の研修実施。 郡山市社協（5 月 2 日）3 名 南会津町社協（5 月 24 日）1 名 会津若松市社協（7 月 17 日）1 名、（8 月 9 日）1 名 福島市社協（10 月 3 日）1 名 2. 任期満了に伴う新規委嘱者研修会（方部別） 県北方部 期日：3 月 18 日 参加者：13 名 県中方部 期日：3 月 17 日 参加者：18 名 県南方部 期日：3 月 14 日 参加者：2 名

会津方部	期日：3月20日	参加者：10名
南会津方部	期日：3月3日	参加者：3名
いわき相双方部	期日：3月7日	参加者18名
生活支援員実働者研修会		
生活支援員（実働者）に対する研修実施。		
期日：7月31日	参加者：41名	
内容：認知症高齢者の理解と対応方法		
イ）関係者等が潜在的利用者を発見するための周知活動		
パンフレット作成（10,000部 6月）		
関係機関配布用 10,000部、利用者配布用 10,000部を作成し関係者に配布。		
関係機関・団体等への制度周知（随時 通年）		
関係機関・団体からの要請によりあんしんサポート並びに成年後見制度の説明を実施。		
訪問介護員初任者研修（5月23日） 143名		
会津美里町民生児童委員協議会本郷地区会（5月24日） 20名		
福島県社協地域包括・在介協議会総会（6月5日） 60名		
福島大学講義「福祉的支援を要する人の権利擁護とその方法」（6月22日） 30名		
中堅民生児童委員研修会会津会場（7月19日） 84名		
相馬市介護支援専門員研修会（7月22日） 30名		
中堅民生児童委員研修会郡山会場（7月25日） 160名		
中堅民生児童委員研修会福島会場（8月1日） 132名		
相馬市社協権利擁護・ほっとネット協力員養成講座（10月11日） 7名		
NPO法人市民後見サポートの会主催「市民後見人養成研修」（2月4日） 30名		
白河市民生児童委員連絡協議会研修会（1月27日） 140名		
社会福祉士会主催「福祉関係者の成年後見研修」（2月19日） 50名		
③成年後見制度利用促進		
ア）本事業と成年後見制度の周知		
暮らしのあんしんセミナー（随時 通年）		
寸劇を通して、身近な権利侵害やその防止のための金銭管理支援について周知。		
桑折町シニアいきいきの集い（10月31日） 70名		
会津若松市「福祉教育セミナー」（3月12日） 40名		
関係機関連絡会議（8月 2月）		
あんしんサポートの円滑は業務執行と、成年後見制度との連携を図るため、家庭裁判所・弁護士会・司法書士会・社会福祉士会・市町村行政等との会議を開催。		
【第1回】		
期日：10月8日 参加者：25名		
内容：あんしんサポートと成年後見制度の緊密な関係形成		
あんしんサポート関係機関連絡会議（はあとふるふくしま 11月号特集）		
【第2回】		
期日：2月26日 参加者：19名		
内容：県社協の成年後見制度への取り組みについて		

イ) 本事業から成年後見制度移行のシステムづくり 本事業から成年後見制度への円滑な運用の検討 (12 月) 上記、関係機関連絡会議等による検討。	
ウ) 市民後見人養成及び法人後見実施に向けての取り組み 市町村社協方部別連絡会議 (再掲) 関係機関連絡会議 (再掲)	
1. 市町村社協方部別連絡会議 県北方部 3 月 18 日 県中方部 3 月 17 日 県南方部 3 月 14 日 会津方部 3 月 20 日 南会津方部 3 月 3 日 いわき相双方部 3 月 7 日 2. 関係機関連絡会議 【第 1 回】 10 月 8 日 【第 2 回】 2 月 26 日	
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 会議・研修会等への参加	
1. 都道府県・指定都市社協日常生活自立支援事業所長会議 (5 月 31 日 東京都) 2. 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ (7 月 23～24 日 東京都) 3. 日本司法支援センター福島地方事務所第 8 回地方協議会 (9 月 18 日 二本松市) 4. 成年後見説明会 (10 月 11 日 相馬市) 5. 成年後見制度関係機関連絡会議 (11 月 18 日 福島市) 6. 北海道・東北ブロック道県指定都市社協日常生活自立支援事業担当者会議 (11 月 26～27 日 山形県) 7. 成年後見制度先駆的取組みの山形市社協視察 (12 月 4 日 山形県) 8. 成年後見制度先駆的取組みの青森県社協視察 (12 月 13 日 青森県) 9. 権利擁護支援フォーラム I N ひろさき (12 月 14 日 青森県) 10. 成年後見フォーラム (2 月 6 日 福島市)	

{ 問合せ・相談件数、契約件数 } ※ () 内は前年度同期

	計	高齢者 (認知症等)	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他	その他相談
問合せ・相談件数	12,833 件 (11,237 件)	5,551 件 (4,891 件)	3,352 件 (3,074 件)	2,162 件 (1,895 件)	1,768 件 (1,370 件)	0 件 (7 件)
初回相談件数	303 件 (330 件)	181 件 (216 件)	41 件 (36 件)	44 件 (45 件)	37 件 (33 件)	
契約件数	92 件 (116 件)	58 件 (64 件)	19 件 (19 件)	9 件 (20 件)	6 件 (13 件)	

[契約件数の累計]

	計	高齢者 (認知症等)	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他
契約件数 (事業開始以来件数)	701 件	407 件	127 件	97 件	70 件
解約件数 (事業開始以来件数)	351 件	238 件	44 件	34 件	35 件
実利用件数 (3 月末)	350 件	172 件	80 件	64 件	34 件
契約準備件数 (3 月末)	28 件	15 件	4 件	7 件	2 件

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(3) 福祉サービス第三者評価事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①福祉サービス第三者評価事業の実施 ア) 福祉サービス第三者評価の受審促進 福祉サービス第三者評価事業（通年） 1. 広報の実施 (1) 月刊福祉情報誌「はあとふるふくしま 2013.5 号（特集）」 2. 評価申込みの受付 (1) 白河学園（児童養護施設） (2) うねめの里（特別養護老人ホーム） (3) 須賀川市母子生活支援施設（母子生活支援施設） (4) 八山田保育園（保育所） (5) 福島愛育園（児童養護支援施設） (6) ふきのとう苑（障害者支援施設） (7) 郡山婦人会幼児保育所（保育所） (8) 堀川愛生園（児童養護支援施設） (9) はまなす荘（障害者支援施設） (10) 昭和ホーム（特別養護老人ホーム） (11) 郡山保育所若竹保育園（保育所） (12) 会津児童園（児童養護支援施設） (13) 福島東保育園（保育所） 3. 事前説明及び周知訪問 (1) 特別養護老人ホーム（3 施設） (2) 障害者支援施設（5 施設） (3) 保育所（8 施設） (4) 社会的養護施設（8 施設） (5) 介護老人保健施設（1 施設） 4. 評価調査（書面調査・利用者調査・訪問調査／事前協議及び事後合議）の実施 (1) 白河学園（7 月 24 日、8 月 20 日／8 月 9 日、9 月 3 日） (2) 須賀川市母子生活支援施設（9 月 26 日、10 月 23 日／10 月 15 日、10 月 30 日） (3) 福島愛育園（10 月 29 日、11 月 29 日／11 月 22 日） (4) 八山田保育園（11 月 7 日、11 月 25 日／11 月 24 日、11 月 29 日） (5) 昭和ホーム（11 月 20 日、12 月 11 日／11 月 28 日、12 月 13 日） (6) はまなす荘（11 月 21 日、12 月 19 日、1 月 8 日／12 月 18 日） (7) 会津児童園（11 月 22 日、12 月 18 日／12 月 13 日、12 月 26 日） (8) 郡山婦人会幼児保育所（1 月 14 日、2 月 5 日／1 月 18 日、3 月 11 日） (9) ふきのとう苑（1 月 20 日、2 月 3 日／1 月 31 日、2 月 19 日） (10) 堀川愛生園（1 月 21 日、3 月 8 日／2 月 15 日、3 月 16 日） (11) 福島東保育園（1 月 28 日、2 月 13 日／2 月 12 日、3 月 7 日） (12) 郡山保育所若竹保育園（1 月 30 日、2 月 18 日／2 月 14 日、2 月 24 日） (13) うねめの里（1 月 30 日、2 月 25 日／2 月 7 日）

5. 評価審査委員会の開催

- 【第1回】 4月18日（福島市）
- 【第2回】 10月3日（福島市）
- 【第3回】 12月19日（福島市）
- 【第4回】 1月16日（福島市）
- 【第5回】 2月20日（福島市）
- 【第6回】 3月20日（福島市）

6. 関係会議への参加

- (1) 福島県第三者評価推進会議（6月14日 福島市）
- (2) 第1回福島県第三者評価推進組織と評価機関との連絡会議（6月28日 福島市）
- (3) 北海道・東北ブロック道県政令指定都市社協第三者評価事業等推進会議
（7月11～12日 岩手県）
- (4) 北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会（9月19日 福島市）
- (5) 評価事業普及協議会（9月20日 東京都）
- (6) 福祉サービス第三者評価事業推進のための研修会（10月2日・10日 福島市）

福祉サービス第三者評価～自己評価～研修（2回）

- 1. 障がい児者施設対象研修（7月29日 福島市 21名参加）
- 2. 全種別施設対象研修（12月12日 福島市 72名参加）

福祉サービス第三者評価出前講座

- 1. 福島東保育園（5月11日）
- 2. 八山田保育園（7月17日）
- 3. 鏡石町立保育所（12月14日）
- 4. 愛日荘園（12月18日）
- 5. はまぎく荘（2月21日）

イ) 評価調査者の質の向上

評価調査者の養成・質の向上

- 1. 社会的養護関係施設福祉サービス第三者評価事業評価調査者養成研修会
（8月28日～31日 東京都 4名参加）
- 2. 福祉サービス第三者評価調査者養成研修（9月4～10日 福島市 5名参加）
- 3. 福祉サービス第三者評価調査者継続研修（10月28日 福島市 6名参加）
- 4. 評価者向上研修（10月28日 福島市 13名参加）

評価調査者学習会

- 評価調査者学習会（9月13日 福島市 18名参加）

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(4) 福島県運営適正化委員会

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①苦情解決事業の充実 ア) 苦情解決部会、運営監視部会の効果的・効率的運営 運営適正化委員会本会議の開催
【第 1 回】 期日：9 月 11 日 内容：平成 24 年度事業実施状況報告、平成 25 年度事業計画（案）
【第 2 回】 期日：3 月 26 日 内容：平成 25 年度事業実施状況中間報告、平成 26 年度事業計画（案）
苦情解決部会の開催
期日：4 月 26 日・6 月 24 日・7 月 5 日・12 月 13 日・1 月 29 日 内容：苦情申出に係る協議・検討
運営監視部会の開催
【第 1 回】 期日：12 月 17 日 内容：平成 25 年度現地調査の内容検討
【第 2 回】 期日：3 月 26 日 内容：日常生活自立支援事業の実施状況、現地調査の結果、助言・勧告の有無 現地調査：本宮市・南会津町（2 月 25 日）、白河市（2 月 26 日）、小野町（3 月 6 日）の各社協
苦情受理、調査及び斡旋
1. 苦情対応件数 37 件 （高齢者 17 件、障がい 12 件、児童 3 件、その他 5 件） 内容：職員の接遇 9 件、サービスの質や量 7 件、利用料 1 件、説明・情報提供 2 件、 被害・損害 5 件、権利侵害 3 件、その他 6 件、繰越 4 件
2. 相談件数 37 件
イ) 広報・啓発活動の充実 ポスター・カード型パンフレットの配布 新施設設へポスター・カード型パンフレットを随時配布 本会情報誌「はあとふる・ふくしま」へ広告を掲載（8 か月）
事業報告書作成
作成部数：1,500 部 配 布 先：各福祉施設経営社会福祉法人、県関係機関等

ウ) 調査の実施 各事業所での取組み状況についての把握の検討 平成 26 年度調査の実施に向け、各県の調査内容を把握した。
②社会福祉施設（事業所）への支援 ア) 事業所への研修の充実 第三者委員研修（2 回）、苦情解決責任者・苦情受付担当者研修（3 回） 1. 苦情受付担当者研修（高齢関連事業所）（9 月 20 日 福島市 167 名参加） 2. 苦情受付担当者研修（障害・児童関連事業所）（9 月 30 日 福島市 122 名参加） 3. 苦情解決責任者・第三者委員研修（中通り・会津方部対象）（10 月 21 日 福島市 137 名参加） 4. 苦情解決責任者・第三者委員研修（浜通り対象）（11 月 22 日 福島市 38 名参加）
イ) 苦情解決マニュアルや事例集等関係資料の内容充実 「福祉サービスの苦情解決事例集」の検討 平成 26 年度調査の実施に向け、各県の調査内容を把握した。（再掲）
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 苦情案件に関する事業所訪問（随時 通年） 1. 苦情解決部会委員、事業所、申出人との話し合い 期日：6 月 24 日 2. 事業所訪問 対象：平成 25 年度および過去に苦情の申し出があった事業所 期日：8 月 28 日、3 月 3 日 種別：高齢関係（1 か所）、障がい関係（2 か所）、児童関係（1 か所）
全国会議への参加 運営適正化委員会事業研究協議会（8 月 2 日 東京都）
ブロック会議への参加 北海道・東北ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議（10 月 29、30 日 秋田県）

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 4】広報啓発、情報提供活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①広報啓発の充実	
ア) 情報誌の充実	
福祉情報誌『はあとふる・ふくしま』の発行（12回 毎月）	
4月より一部コーナーを刷新し、「施設発みんな大好き人気メニュー」などのコーナーを新しく設け、内容の充実に努めた。	
イ) ホームページの充実	
トップページ等の内容の変更・修正・更新（随時 通年）	
今年度よりホームページ上で「はあとふる・ふくしま」の全頁公開を行った。	
ウ) 発行物の効果的な活用	
本会パンフレット作成（4月）	
部数：2,100部 配布先：会員施設、特別賛助会員等	
エ) 新たな広報活動の検討	
様々な広報手段の活用（随時 通年）	
SNSフェイスブックにて、事業報告や本会ホームページの更新情報などの情報提供を行った。	
②表彰事業の実施	
ア) 各種表彰の実施	
第67回福島県社会福祉大会の実施（1回 11月）	
第67回福島県社会福祉大会 参加者 873名	
期日：11月15日	
会場：相馬市民会館	
内容：①記念講演	
演題 『しなやかな体、タフな心～アンチ・エイジングヨーガのすすめ～』	
講師 福島大学 人間発達文化学類 教授 白石 豊 氏	
②式典・表彰状・感謝状贈呈	
福島県知事感謝状（66名）	
「瓜生岩子賞」表彰状（3名）	
大会会長表彰状（307名・団体）	
大会会長感謝状（47名・団体）	
「赤い羽根共同募金運動スローガン」表彰状（6名）	
イ) 第21回瓜生岩子賞の贈呈（1回 11月）	
期日：同上	
会場：同上	
受賞者：神戸信行 氏（福島市）	
幕田好三 氏・由美子 氏（福島市）	

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】ボランティア・住民参加活動

(1) ボランティア・市民活動の振興

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①ボランティア・市民活動の基盤強化	
ア) 中間支援型組織の機能強化	
うつくしまコラボネットワーク会議（1 回 30 名程度 1 月）	
期日：3 月 13 日	参加者：51 名（県総合社会福祉センター）
イ) 受け入れ型組織に対する支援	
ボランティア受入福祉施設等担当者研修（【基礎編】【ステップアップ編】各 1 回）	
1. 基礎編	期日：7 月 3 日 参加者：40 名（ウィル福島）
2. ステップアップ編	期日：7 月 17 日 参加者：40 名（ウィル福島）
ウ) 企業の社会貢献活動に対する支援	
アンケート・ヒアリング調査の集約及び分析（随時 通年）	
1. 「福島県内企業の社会貢献活動実態調査」の実施	
調査対象：福島県内の 2,362 事業所	
調査期間：平成 25 年 3 月 27 日～4 月 20 日	
調査方法：郵送調査法	
有効回答率：28.7%（有効回収数 668 件）	
2. 「福島県内企業の社会貢献活動実態調査」報告書作成	
作成部数：700 部	
配布先：調査回答企業、市町村社会福祉協議会等	
②地域福祉を支える担い手の育成	
ア) インフォーマルサービスの拡充	
コミュニティソーシャルワーク研修会（1 回（2 日）30 名程度 12 月）	
期日：9 月 27 日	参加者：21 名（県青少年会館）
※あんしんサポート（日常生活自立支援事業）担当職員研修会（9 月 26 日）併催	
協働による地域の福祉力向上事業（2 回（1 日）9 月、11 月）	
【第 1 回】	
期日：10 月 3 日	参加者：278 名（三春交流館「まほら」）
【第 2 回】	
期日：2 月 24 日	参加者：80 名（喜多方市総合福祉センター）
イ) 学びの場の創出	
学生による協働の場づくり（1 回 6 月）	
1. 学生による交流の場づくり	
期日：9 月 21 日	参加者：7 名（県総合社会福祉センター）
2. ふくしま復興支援学生ネットワーク会議	
期日：5 月 15 日（福島市）	

期日：10月9日（福島市） 期日：12月4日（福島市） 期日：1月15日（福島市） 期日：2月21日（福島市） 3. ふくしま復興支援学生ネットワーク活動報告会 期日：3月9日 参加者：約50名（郡山女子大学） 内容：活動報告、ワークショップ等。
地域で取り組む福祉教育推進事業（県内2ヶ所 通年） 指定：二本松市社会福祉協議会、平田村社会福祉協議会
小中高生へのボランティア及び福祉教育の普及促進事業 ボランティア活動ハンドブック作成 作成部数：2,000部 配布時期：7月 配布先：市町村社会福祉協議会、中学校等
③災害に備えた支援の強化 ア) 要綱や指針などの策定支援 巡回訪問（随時 通年）
二本松市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会（3月19日）
イ) 災害ボランティアセンターに必要な訓練、研修会等の充実 災害ボランティアセンター運営講座（1回（1日）40名程度 8月）
期日：8月8日 参加者：63名（県男女共生センター）
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 ボランティア活動推進委員会（2回（半日） 8・3月）
【第1回】 期日：8月27日 内容：平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画と経過報告等 【第2回】 期日：3月12日 内容：平成25年度事業経過報告及び平成26年度事業計画（案）等
会議・研修会等への参加
1. 都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議（4月24～25日 東京都） 2. 福島県総合防災訓練（9月1日 二本松市） 3. 災害ボランティアセンター運営者研修（10月16日～18日 東京都） 4. 第22回全国ボランティアフェスティバル高知（11月23日～24日 高知県） 5. 都道府県・指定都市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター担当者連絡会議（12月26日 東京都） 6. 南東北災害ボランティアセンター運営者養成合宿（2月28日～3月1日 山形県）
市町村ボランティアセンター活動実践事例集の作成・配布（8月） 作成部数：250部

配布時期：10 月 配布先：市町村社会福祉協議会、市民活動支援センター、関係機関等
ふくしまボランティアフェスティバル＜共同募金配分事業＞（1 回（1 日）600 名程度 11 月） 期日：2 月 22 日 参加者：約 600 名（パルセいいざか） 内容：記念式典、記念講演、分科会等
関係機関等への講師派遣及び協力援助 1. 福島県消防学校情操教育（9 月 12 日 福島市） 2. 福島県消防学校情操教育（3 月 19 日 福島市）

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】ボランティア・住民参加活動

(2) 長寿社会推進事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①長寿社会に向けての普及啓発活動の推進 ア）広報紙の発行等 長寿社会に向けての的確な情報提供（12 回程度 月 1 回程度） 1. 長寿社会推進センター運営委員会の開催 期日：3 月 14 日（福島市） 内容：平成 25 年度事業実施状況について、平成 26 年度事業計画（案）について 2. 福祉情報誌「はあとふる・ふくしま（別冊）」による広報 部 数：毎月 10,500 部 配布先：県、市町村、市町村社協、市町村老人クラブ連合会等 3. 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会への参加 第 1 回総会（7 月 2 日 東京都） 第 2 回総会（2 月 20 日 東京都） 北海道・東北ブロック会議（12 月 19 日 青森県）
イ）いきいき長寿県民賞の顕彰 長寿社会イメージアップ作戦事業（1 回 福島市） 第 16 回いきいき長寿県民賞の表彰 応募件数：個人 36 件、団体 22 件 計 58 件 受 賞 者：個人 8 名、2 団体 計 10 件 表 彰 式：8 月 12 日（県文化センター）
ウ）自主事業の実施 復興支援 3.11 ある避難地域の人々の記録事業（調査対象者 10 名程度） 冊子『3.11 ある被災地の記録 ～浪江町津島地区のこれまで、あのとき、そしてこれから～』の発刊 聞き取り調査対象者：16 名 刊行：3 月（A4 版 152 ページ、2,000 部、頒布価格 1,000 円（税込））
元気高齢者発信事業（6 件程度 通年） 活動事例の調査及び広報 6 件 活動事例：福島市 1 件、伊達市 1 件、郡山市 2 件、飯舘村 2 件
②高齢者の社会参加を促進するための環境整備 ア）シルバー美術展の開催 うつくしま、ふくしま。健康福祉祭（1 回 8 月） 第 23 回福島県シルバー美術展の開催 期日：8 月 8～12 日 会場：県文化センター 展示作品数：388 点（表彰 60 点）

イ) 高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会への支援

いきいきシニアサポート事業 (通年 通年)

サザンクロスクラブへの助成金交付 6 方部 1,068 千円

③高齢者総合相談事業の実施

ア) 高齢者総合相談センターの運営

高齢者総合相談センターの運営事業 (通年 通年)

相談件数 902 件 (前年度比 245 件減)

1. 一般相談

相談件数 779 件 (前年度比 197 件減)

内訳: 窓口相談 765 件 (" 183 件減)

巡回相談会 12 件 (" 12 件減)

出張相談 2 件 (" 2 件減)

2. 専門相談

相談件数 123 件 (前年度比 48 件減)

内訳: 窓口相談 101 件 (" 9 件減)

巡回相談会 21 件 (" 14 件減)

出張相談 1 件 (" 25 件減)

3. 巡回相談

本宮市ほか 10 市町村 33 件 (再掲)

4. 出張相談

介護の日記念フォーラム 2013 「日常生活の心配ごと・認知症介護」相談

期日: 11 月 3 日

会場: 県男女共生センター

件数: 3 件 (再掲)

イ) 認知症コールセンターの運営

認知症コールセンターの運営事業 (通年 通年)

相談件数 267 件 (前年度比 2 件減)

内訳: 電話相談 256 件 (" 2 件増)

面接相談 11 件 (" 4 件減)

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】ボランティア・住民参加活動

(3) 県民介護講座

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）		
事業報告		
①県民介護講座の実施		
ア) 県民のニーズに対応したプログラムの充実		
初級介護講座（1日 2回）		
期日：6月1日	参加者：27名（26名）	※（ ）内は前年度実績
9月14日	参加者：22名（21名）	
介護セミナー（1回 1日）		
期日：11月3日	参加者：65名（前年度：38名）	※介護の日記念フォーラム 2013 と併催
認知症介護セミナー（1回 1日）		
期日：9月7日	参加者：118名（前年度：130名）	
介護ワンポイント講座（1日 12回）		
期日：5月25日	参加者：17名（19名）	※（ ）内は前年度実績
6月15日	参加者：47名（32名）	
6月29日	参加者：36名（27名）	
7月20日	参加者：35名（31名）	
8月10日	参加者：27名（16名）	
8月31日	参加者：30名（29名）	
9月21日	参加者：30名（19名）	
10月19日	参加者：33名（45名）	
11月30日	参加者：30名（35名）	
1月25日	参加者：23名（25名）	
2月 8日	参加者：18名（35名）	
2月22日	参加者：18名（31名）	
オーダーメイド介護講座（随時）		
期日：4月17日（福島介護福祉専門学校①）	参加者：20名	
4月17日（福島介護福祉専門学校②）	参加者：20名	
4月18日（福島介護福祉専門学校③）	参加者：20名	
4月23日（福島介護福祉専門学校④）	参加者：20名	
11月12日（ポラリス保健看護専門学校①）	参加者：16名	
11月13日（ポラリス保健看護専門学校②）	参加者：16名	
8月20日（公立学校共済組合福島支部①）	参加者：30名	
8月21日（公立学校共済組合福島支部②）	参加者：35名	
10月25日（福島家庭裁判所職員研修①）	参加者：30名	
2月6日（福島家庭裁判所職員研修②）	参加者：12名	
2月7日（福島家庭裁判所職員研修③）	参加者：18名	
2月12日（福島家庭裁判所職員研修④）	参加者：18名	

2月20日（福島家庭裁判所職員研修⑤）	参加者：24名
9月3日（福島県警察学校①）	参加者：33名
9月4日（福島県警察学校②）	参加者：32名
1月15日（福島県警察学校③）	参加者：31名
1月16日（福島県警察学校④）	参加者：29名
3月12日（福島県警察学校⑤）	参加者：23名
3月13日（福島県警察学校⑥）	参加者：22名
9月11日（二本松市立石井小学校5年生）	参加者：31名
12月4日（二本松市立二本松北小学校5年生①）	参加者：24名
12月4日（二本松市立二本松北小学校5年生②）	参加者：25名
12月5日（二本松市立二本松北小学校5年生③）	参加者：25名
介護実技基本講座（1日 12回）	
期日：6月8日	参加者：40名（31名） ※（ ）内は前年度実績
6月22日	参加者：31名（22名）
7月6日	参加者：39名（23名）
8月3日	参加者：43名（34名）
8月24日	参加者：27名（23名）
9月28日	参加者：24名（36名）
11月2日	参加者：20名（32名）
11月16日	参加者：29名（38名）
12月14日	参加者：28名（34名）
1月11日	参加者：28名（39名）
2月1日	参加者：21名（29名）
2月15日	参加者：1名（29名）
介護の日記念フォーラム2013の開催	
期日：11月3日	参加者：65名 ※介護セミナーと併催
イ）「認知症キャラバン・メイト養成」と県民への正しい知識の普及促進 認知症キャラバン・メイト養成研修（1日 2回）	
【会津若松会場】	
期日：6月4日	参加者：83名
【二本松会場】	
期日：6月15日	参加者：107名
認知症キャラバン・メイト フォローアップ研修（1日 2回）	
【二本松会場】	
期日：6月25日	参加者：25名
【いわき会場】	
期日：7月9日	参加者：15名
ウ）地域で開催する介護講座に対する支援の充実 基本目標4 推進項目7 実施計画③「介護講習等企画担当者研修」該当	

エ) 推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

1. 委員会等の開催

(1) 福島県介護研修事業検討委員会 (2回)

【第1回】 期日: 11月20日

内容: 委員長の互選

委員長職務代理者の指名

平成25年度事業実施中間報告

平成25年度事業(下半期)の実施計画等

【第2回】 期日: 3月6日

内容: 平成25年度事業実施状況報告

アンケート結果報告

平成26年度事業実施計画(案)等

2. 会議等への出席

(1) 一般社団法人福島県介護福祉士会総会・記念講演会(4月27日 郡山市)

(2) 未来館ネットワークフォーラム2013実行委員会(6月~9月 4回 二本松市)

(3) 福島県福祉用具・住宅改修普及支援協議会

【第1回】 11月20日(二本松市)

【第2回】 3月6日(二本松市)

基本目標 4＞ 福祉サービスの質の向上に向けた支援
【推進項目 6】福祉人材の養成・確保

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）			
事業報告			
①福祉人材養成・確保に関する関係機関との協働			
ア) 無料職業紹介所機能の充実			
求職・求人登録及び職業相談・紹介（随時 通年）			
1. 新規求人件数	1,903 件（ 1,597 件）	※（ ）内は前年度実績	
2. 新規求人数	5,074 人（ 3,732 人）		
3. 有効求人数	15,684 人（ 9,955 人）		
4. 新規求職者数	1,065 人（ 1,206 人）		
5. 有効求職者数	4,444 人（ 5,404 人）		
6. 就職人数	274 人（ 387 人）		
7. 有効求人倍率	3.53 倍（ 1.84 倍）		
8. 新規求人倍率	4.76 倍（ 3.09 倍）		
福祉の仕事相談会の開催（5 方部）（毎月・隔月 計 48 回）			
郡山市	（第 4 月曜日）	相談件数：30 件（ 31 件）	※（ ）内は前年度実績
会津若松市	（第 1 水曜日）	29 件（ 28 件）	
いわき市	（第 2 水曜日）	17 件（ 25 件）	
白河市	（隔月第 2 金曜日）	7 件（ 7 件）	
南相馬市	（隔月第 3 木曜日）	3 件（ 3 件）	
福祉人材センター協力指定事業の実施（6 社協）			
1. 指定社協			
福島市、郡山市、白河市、会津若松市、南相馬市、いわき市			
2. 指定内容			
福祉人材センター事業の広報啓発、求職登録受付など			
インターネットによる職業紹介の実施（随時 通年）			
アクセス数： 128,342 件（前年度：175,739 件）			
ハローワークにおける相談活動（随時 通年）			
1. 福祉の仕事相談会	計 96 回	365 名（116 回 422 名）	※（ ）内は前年度実績
ハローワーク二本松	12 回	46 名（ 12 回 48 名）	
ハローワーク郡山	12 回	69 名（ 21 回 79 名）	
ハローワーク須賀川	12 回	57 名（ 12 回 43 名）	
ハローワーク白河	12 回	36 名（ 12 回 50 名）	
ハローワーク会津若松	12 回	42 名（ 12 回 41 名）	
ハローワーク喜多方	12 回	33 名（ 12 回 41 名）	
ハローワーク相双	12 回	31 名（ 12 回 53 名）	
ハローワーク平	12 回	51 名（ 23 回 67 名）	
2. 就職支援セミナー	計 120 回	1,028 名（140 回 973 名）	
ハローワーク福島	24 回	188 名（24 回 173 名）	
ハローワーク二本松	12 回	116 名（12 回 104 名）	

ハローワーク郡山	12回 182名 (21回 122名)
ハローワーク須賀川	12回 145名 (12回 81名)
ハローワーク白河	12回 123名 (12回 184名)
ハローワーク会津若松	12回 54名 (12回 54名)
ハローワーク喜多方	12回 72名 (12回 69名)
ハローワーク相双	12回 80名 (12回 91名)
ハローワーク平	12回 68名 (23回 95名)

3. 民間企業・行政等主催就職フェア・セミナー等への出展参加

参加回数：16回 (20回)

相談者計：70名 (132名)

福祉の仕事ガイドブックの作成

1. 「福祉の仕事ガイドブック」の作成

部数：7,000部

配布先：求職者等

2. 「福祉の仕事を考えている人が最初に読むガイド」の作成

部数：10,000部

配布先：各ハローワーク、求職者等

「はあとふる・ふくしま」による広報・啓発 (毎月 (広告)・特集 (年2回) 10・2月)

7月号特集：『福祉人材の確保・定着の今』～事例から有効策を探る～

2月号特集：「法人トップの意識改革が人材の確保・育成・定着につながる」

ポスター、リーフレット、新聞広告等媒体掲載等 (随時 通年)

福島民友・福島民報等への事業PR広告掲載

福祉啓発ビデオの貸出 (随時 通年)

貸出本数：138本 (前年度：227本)

福祉施設・事業所職員就労意識調査の実施 (1回 11月)

調査対象：県内の社会福祉法人が運営する福祉施設・事業所職員 (直接処遇職員)

調査内容：県内の福祉施設・事業所で働く職員の就労に関する考え方や意見・意向、仕事の魅力、就業継続の要件等を把握することにより、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策に活用することを目的に実施。

調査期間：12月9日～12月20日

回収率：配布数 865ヶ所×5名、回収 611ヶ所 (70.6%)、2,776名 (64.2%)

福祉人材の確保・育成・定着に関する調査の実施

調査対象：県内の福祉施設・事業所 (高齢・障害・児童)

調査内容：県内の福祉施設・事業所における人材の確保・育成・定着に関する現状を把握することにより、福祉人材の確保・育成・定着に関する課題等を明らかにし、本会と福祉施設・事業所、並びに関係機関が共通した認識をもって各種の対策等を進めることができるようにすることを目的に実施。

調査期間：1月10日～1月24日

回収率：配布数 2,186ヶ所、回収 879ヶ所、回収率 40.2%

分析：随時実施

保育士等支援センターの運営（随時 通年）【新規】

1. 求職者及び求人者に係るコーディネート（コーディネート件数 12 件）

（1）相談支援

290 件（内訳：求職者 209 件、求人側 81 件）

（2）求職・求人登録

求職登録 54 名、求人票提出 95 件

（3）広報・周知

リーフレットの作成・配布

部 数：50,000 部

配布先：保育所、公民館、図書館、公共施設 等

保育所事例集「保育士の定着・育成のために、今できること」の作成・配付

部 数：8,000 部

配布先：保育所、児童クラブ、認定こども園、ハローワーク 等

会議・研修等での広報

6 月 7 日 福島県保育協議会評議員会

6 月 21 日 保育所（園）長・主任保育士等研修会

6 月 30 日 福島県地域保育所協議会園長及び保育士研修会

8 月 21 日 保育所保育士専門研修（リーフレットの配布）

9 月 30 日 保育所指導管理者研修

10 月 15 日 保育所給食関連研修（リーフレットの配布）

新聞広告等への掲載

はあとふるふくしま 8 月号 掲載

12 月、2 月 福島民報新聞に広告掲載

11 月、1 月、3 月 タイムに広告掲載

12 月、2 月 福島民友新聞に広告掲載

11 月、1 月、3 月 タッチに広告掲載

医療健康専門フリーペーパー「ぷるぷる」3 月号に広告掲載

2. 現状の課題把握等

（1）雇用環境確認（保育所等訪問）

認可保育所 12 ケ所

認可外保育所 6 ケ所

児童クラブ 3 ケ所

（2）課題の把握並びに検討等 2 件

3. 説明会

（1）就労支援説明会の実施（福祉の職場合同就職説明会と同日開催）

8 月 3 日 会津若松会場 参加者（保育士） 0 名

8 月 4 日 いわき会場 参加者（保育士） 1 名

8 月 12 日 郡山会場 参加者（保育士） 5 名

8 月 16 日 福島会場 参加者（保育士） 5 名

2 月 9 日 福島会場 参加者（保育士） 9 名

2 月 15 日 郡山会場 参加者（保育士） 2 名

（内容）保育所等の職員の体験談、保育所等の事業 P R、保育所等の面談コーナー

福祉の職場合同就職説明会の開催（6回 8月・2月）

【第1回】

共催：福島労働局、各公共職業安定所、（財）介護労働安定センター福島支所

内容：施設面談コーナー、ハローワークコーナー、福祉人材センター登録・相談コーナー、
介護職就労等相談コーナー

結果：来場者 226 名、求人ブース 170（前年度 287 名、139 ブース）

会津若松会場（会津若松ワシントンホテル）

期日：8月3日

結果：来場者 22 名、求人ブース 20（前年度 32 名、12 ブース）

いわき会場（いわき市生涯学習プラザ）

期日：8月4日

結果：来場者 11 名、求人ブース 30（前年度：15 名、19 ブース）

郡山会場（ビッグパレットふくしま）

期日：8月12日

結果：来場者 145 名、求人ブース 69（前年度：142 名、58 ブース）

福島会場（ホテル福島グリーンパレス）

期日：8月16日

結果：来場者 48 名、求人ブース 51（前年度：98 名、50 ブース）

【第2回】

共催：福島労働局、各公共職業安定所、（財）介護労働安定センター福島支所

内容：施設面談コーナー、ハローワークコーナー、福祉人材センター登録・相談コーナー
介護職就労等相談コーナー

結果：来場者 77 名、求人ブース 124（前年度：251 名、113 ブース）

福島会場（ホテル福島グリーンパレス）

期日：2月9日

結果：来場者 51 名、求人ブース 53（前年度：120 名、47 ブース）

郡山会場（ビッグパレットふくしま）

期日：2月15日

結果：来場者 26 名、求人ブース 71（前年度：131 名、66 ブース）

イ）市町村社協、労働行政との連携強化

福祉人材センター運営委員会（2回 10・3月）

【第1回】

期日：12月11日

内容：平成 25 年度福祉人材センター事業経過報告（中間報告）、福祉人材センターにおける今後の事業展開

【第2回】

期日：3月26日

内容：平成 25 年度福祉人材センター事業中間報告、平成 26 年度福祉人材センター事業計画（案）

ネットワーク構築情報会議（1回 5月）

期日：5月14日

内容：平成 24 年度事業報告、平成 25 年度事業計画、福祉人材センター協力指定事業の進め方について、福祉人材養成・確保に関する情報交換

②求職者、従事者への支援

ア) 学生に対する支援の充実

学生に対する就職動向説明会の開催(随時 100校)

学校数: 14校(高校、専門学校、短期大学、大学) (前年度: 16校)

聴講者: 946名(前年度: 1,273名)

事業所PRコーナー等の設置(6回 8月・2月)

福祉の職場合同面接会参加施設・事業所によるPR

【第1回】 来場者計226名、参加施設・事業所延べ40ヶ所(前年度: 244名、18ヶ所)

会津若松会場(会津若松ワシントンホテル)

期日: 8月3日

結果: 来場者30名、参加施設・事業所10ヶ所(前年度: 55名、2ヶ所)

いわき会場(いわき市生涯学習プラザ)

期日: 8月4日

結果: 来場者16名、参加施設・事業所10ヶ所(前年度: 13名、3ヶ所)

郡山会場(ビッグパレットふくしま)

期日: 8月12日

結果: 来場者140名、参加施設・事業所10ヶ所(前年度: 100名、5ヶ所)

福島会場(ホテル福島グリーンパレス)

期日: 8月16日

結果: 来場者40名、参加施設・事業所10ヶ所(前年度: 76名、8ヶ所)

【第2回】 来場者計65名、参加施設・事業所延べ9ヶ所(24年度: 186名、19ヶ所)

福島会場(ホテル福島グリーンパレス)

期日: 2月9日

結果: 来場者43名、参加施設・事業所6ヶ所(前年度: 84名、9ヶ所)

郡山会場(ビッグパレットふくしま)

期日: 2月15日

結果: 来場者22名、参加施設・事業所3ヶ所(前年度: 102名、10ヶ所)

中学生・高校生に対する「福祉の仕事」啓発資料の作成(20,000部 7月)

1. 高校生向け啓発資料「REAL～福祉の仕事ガイドブック～」の作成 ※共同募金配分事業

部数: 40,000部

配布先: 各高等学校、関係機関等

2. 高校生向け啓発DVDの作成【新規】※共同募金配分事業

枚数: 500部

配布先: 各高等学校、関係機関等

3. 中学生向け啓発資料「福祉の仕事 スタートノート」の作成 ※共同募金配分事業

部数: 40,000部

配布先: 各中学校、関係機関等

他業種等からの就職体験談啓発資料の作成(2,000部 7月)

「福祉の職場に就職した先輩からのスタートメッセージ」作成

部数: 5,000部

配布先: 各ハローワーク、求職者等

介護福祉士緊急養成事業(4校へ補助)【新規】

申請件数 4 件 2,000,000 円

決定件数 4 件 2,000,000 円

イ) 求職者の技術向上のための講習会の充実

社会福祉施設職場見学会の実施(随時)【新規】

1. 福祉・介護の職場見学会

見学施設: 9 法人、12 ヶ所

県北コース 期日: 7 月 23 日 参加者: 8 名

いわきコース 期日: 7 月 25 日 参加者: 17 名

県中コース 期日: 7 月 29 日 参加者: 10 名

県南コース 期日: 7 月 31 日 参加者: 4 名

安達コース 期日: 8 月 20 日 参加者: 6 名

会津コース 期日: 8 月 22 日 参加者: 6 名

2. 福祉・介護の職場見学・説明会

実施期間: 12 月 1 日～3 月 4 日

参加者: 10 校、73 名(中学校 2 校・8 名、高等学校 8 校・65 名)

見学施設: 10 法人、13 ヶ所

就職支援講習会の開催(6 回 8 月・2 月)

【第 1 回】 参加者: 226 名(前年度: 244 名)

会津若松会場(会津若松ワシントンホテル)

期 日: 8 月 3 日

参加者: 30 名(前年度: 55 名)

いわき会場(いわき市生涯学習プラザ)

期 日: 8 月 4 日

参加者: 16 名(前年度: 13 名)

郡山会場(ビッグパレットふくしま)

期 日: 8 月 12 日

参加者: 140 名(前年度: 100 名)

福島会場(ホテル福島グリーンパレス)

期 日: 8 月 16 日

参加者: 40 名(前年度: 76 名)

【第 2 回】 参加者: 65 名(24 年度: 186 名)

福島会場(ホテル福島グリーンパレス)

期 日: 2 月 9 日

参加者: 43 名(24 年度: 84 名)

郡山会場(ビッグパレットふくしま)

期 日: 2 月 15 日

参加者: 22 名(24 年度: 102 名)

③資格取得支援

ア) 求職者及び従事者への資格取得支援

介護福祉士受験準備講習会の開催(講義・実技・模擬試験)

(講義 8 回 8 月～11 月、実技 2 回 2 月、模擬試験 1 回 12 月)

【講義】

期 日: 8 月 13 日～12 月 6 日(全 8 日間)

会 場：郡山ユラックス熱海
受講者：210 名（前年度：204 名）

【実技】

期 日：第 1 回 2 月 26 日、第 2 回 2 月 27 日
場 所：郡山健康科学専門学校
受講者：第 1 回 24 名 第 2 回 20 名（前年度：計 46 名）

介護支援専門員実務研修受講試験の実施（1 回）

期 日：10 月 13 日
会 場：福島成蹊高校、福島学院大学福島駅前キャンパス、ウィル福島、福島県立医科大学、
県総合社会福祉センター、東日本国際大学
受験申込者：2,833 名（2,843 名） ※（ ）内は前年度実績
実受験者数：2,616 名（2,622 名）
合格者数：340 名（399 名）
合格 率：13.0%（15.2%）

介護支援専門員実務・再・更新研修の開催（2 コース 1 月～3 月）

期 日：前期Ⅰ 1 月 15 日～18 日 前期Ⅱ 1 月 21 日～24 日
後期Ⅰ 2 月 18 日～20 日 後期Ⅱ 2 月 25 日～27 日
会 場：ビッグパレットふくしま（郡山市）
受講者：545 名（前年度：516 名）
内 容：介護保険法令及び関係通知における介護支援専門員の職務、資格等に関する規定に則り、利用
者の自立支援を図るための内容

一般向け介護職員初任者研修（20 コースへ補助）【新規】

申請件数 18 件（募集定員 447 人） 21,828,000 円
確定件数 10 件（募集定員 177 人） 7,101,000 円

介護福祉士候補者学習支援事業（150 名へ補助）【新規】

申請件数 35 件（候補者 176 人） 10,243,000 円
確定件数 35 件（候補者 176 人） 8,193,000 円

介護福祉士等修学資金の貸付（1 回 4 月下旬）

1. 貸付の実施

貸付申込者数 66 名（56 名） ※（ ）内は前年度実績
貸付決定者数 65 名（55 名）
内訳：介護福祉士 64 名（53 名）
県内養成校在校 55 名（36 名）、県外養成校在校 9 名（16 名）
社会福祉士 1 名（3 名）
貸付決定額 102,170,000 円（88,820,000 円）
内訳：介護福祉士 100,670,000 円（85,770,000 円）
社会福祉士 1,500,000 円（3,050,000 円）

2. 貸付選考会の開催

期日：第 1 回 6 月 7 日
第 2 回 7 月 22 日

3. 債権の管理 総貸付者数 206 名 (25 年度決定者も含む) <貸付中 116 名、返還中 7 名、返還完了 6 名、(介護従事による) 猶予中 76 名、(介護従事以外による) 猶予中 1 名> 4. 広報の実施 県内高等学校へ案内送付
保育士修学資金の貸付 (1 回 4 月下旬) 【新規】 1. 説明会の実施 期日: 8 月 1 日 2. 貸付の実施開催 募集人数: 40 名程度 募集期間: 8 月 6 日～10 月 10 日 3. 貸付の実施 貸付申込者数 13 名 貸付決定者数 12 名 貸付決定額 8,400,000 円 4. 貸付選考会の開催 期日: 10 月 15 日 5. 債権の管理 総貸付者数 12 名
④社会福祉施設等への人材養成・確保支援 ア) 訪問相談事業の実施 施設・事業所等訪問事業 (随時 通年)
1. 高齢 11 件 (24 件) ※ () 内は前年度実績 2. 老健 1 件 (1 件) 3. 障害 1 件 (1 件)
イ) 安定的な施設経営とよりよい職場環境づくりへの支援 雇用関係給付金の取扱事業の実施 (随時 通年)
随時
法人の求人活動支援事業 (27 グループ) 【新規】
申請件数 24 件 32,434,000 円 確定件数 24 件 30,042,000 円
新規採用職員住まい支援事業 (浜通り限定) (70 名) 【新規】
申請件数 7 件 (職員 7 人) 856,000 円 確定件数 6 件 (職員 6 人) 735,000 円
新規採用職員就労支援金事業 (浜通り限定) (230 名) 【新規】
申請件数 48 件 (職員 124 人) 12,400,000 円 確定件数 34 件 (職員 90 人) 9,000,000 円
福祉の職場内定者導入研修会の開催 (7 回 2～3 月) 【新規】

内容：ビジネスマナーについて、利用者とのコミュニケーションについて等

講師：株式会社コンクレティオ 関弘子 氏

福島会場（ホテル福島グリーンパレス）

期 日：3月11日

参加者：39名

白河会場（ホテルサンルート白河）

期 日：3月12日

参加者：30名

郡山会場（郡山ビューホテルアネックス）

期 日：3月13日

参加者：40名

会津会場（会津若松ワシントンホテル）

期 日：3月14日

参加者：29名

いわき会場（いわき市生涯学習プラザ）

期 日：3月18日

参加者：43名

南相馬会場（ロイヤルホテル丸屋）

期 日：3月19日

参加者：8名

中核介護士就労支援事業（浜通り限定）（10名）【新規】

申請件数 3件（職員3人） 1,350,000円

確定件数 2件（職員2人） 950,000円

労務診断等出前相談事業（随時）

1. 労務診断実施法人：12法人

2. 出前研修実施法人：15法人（前年度：22法人）

3. 社会福祉施設等に対する啓発資料の作成・配布

（1）「社会福祉施設・事業所のための労務権利Q&A【改訂版】」 1,000部

（2）「人材採用担当者研修まとめ～採用戦略と採用までの具体的な取組み及び職場定着について～」
2,000部

福祉介護人材定着促進事業（13回 通年）【新規】

キャリアパス制度理解研修

期 日：平成25年8月30日

会 場：ビッグパレットふくしま

参加者：204名

内 容：人事管理におけるキャリアパスの位置づけ

キャリアパスの活用と運営を通じた組織活性化等

福祉人材確保推進セミナーの開催（1回 3月）

期 日：3月4日

会 場：ビッグパレットふくしま

受講者：92名（前年度：84名）

講 師：ウェルフェア・J・ユナイテッド株式会社 取締役 専務 鈴木真一 氏

内 容:「社会保障制度改革国民会議報告書及び社会福祉法人の在り方等に関する検討会が描く改革のゆくえ～社会福祉法人の経営者が今考えなければならない経営戦略」

ウ) 社会福祉施設・養成校との連携

社会福祉施設・養成校との情報交換会の開催(6回 6月・10月)

1. 高等学校及び社会福祉施設との情報交換会

内容:福祉人材確保、定着及び育成の現状と課題について、第3学年の進路動向(進学及び就職)について、人材確保支援(就職支援)事業について

相双地区(南相馬市民文化会館)

期 日:11月21日

参加者:高等学校6校、社会福祉施設8ヶ所

いわき地区(いわき市社会福祉センター)

期 日:11月26日

参加者:高等学校8校、社会福祉施設6ヶ所

県南地区(白河市中心老人福祉センター)

期 日:11月29日

参加者:高等学校2校、社会福祉施設3ヶ所

会津地区(会津アピオ)

期 日:12月4日

参加者:高等学校7校、社会福祉施設7ヶ所

県北地区(県総合社会福祉センター)

期 日:12月5日

参加者:高等学校8校、社会福祉施設7ヶ所

県中地区(ビッグパレットふくしま)

期 日:12月6日

参加者:高等学校8校、社会福祉施設7ヶ所

2. 高等学校との情報交換会

内容:第3学年の進路動向(進学及び就職)について、人材確保支援(就職支援)事業について、福祉人材センターの取り組みについて

県北地区(県総合社会福祉センター)

期 日:3月25日

参加者:高等学校5校

いわき地区(いわき市社会福祉センター)

期 日:3月25日

参加者:高等学校1校

県中地区(ビッグパレットふくしま)

期 日:3月26日

参加者:高等学校4校

県南地区(白河市中心老人福祉センター)

期 日:3月26日

会津地区(会津アピオ)

期 日:3月27日

参加者:高等学校1校

相双地区(南相馬市民文化会館)

期 日:3月27日

参加者:高等学校5校

基本目標 4 > 福祉サービスの質の向上に向けた支援
【推進項目 7】社会福祉従事者の資質向上

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）		
事業報告		
①ニーズに応じた研修の実施		
ア) 研修ニーズに応じた研修体系・内容の見直し		
福祉職員生涯研修課程（全社協開発）および施設種別や職種に応じた課題別による研修の実施		
1. 生涯研修（4 コース）		
（1）社会福祉施設新任職員研修（7 班）	396 名	（県総合社会福祉センター）
（2）社会福祉施設中堅職員研修（4 班）	229 名	（県総合社会福祉センター）
（3）社会福祉施設指導的職員研修（2 班）	117 名	（県総合社会福祉センター）
（4）社会福祉施設長等運営管理職員研修	55 名	（県総合社会福祉センター）
2. 現任研修（13 コース）		
（1）老人福祉施設職員研修Ⅰ	147 名	（郡山ユラックス熱海）
（2）老人福祉施設職員研修Ⅱ	177 名	（郡山ユラックス熱海）
（3）認知症高齢者対応研修	189 名	（郡山ユラックス熱海）
（4）障害者福祉施設職員等基礎研修	96 名	（県総合社会福祉センター）
（5）障害者福祉施設職員研修	59 名	（郡山ユラックス熱海）
（6）児童福祉施設職員研修	16 名	（県総合社会福祉センター）
（7）児童厚生員・放課後児童指導員研修	96 名	（郡山ユラックス熱海）
（8）社会福祉施設看護等職員研修	155 名	（郡山ユラックス熱海）
（9）社会福祉施設栄養士研修	150 名	（郡山ユラックス熱海）
（10）保育所新任保育士研修	145 名	（ビッグパレットふくしま）
（11）保育所保育士専門研修	150 名	（郡山ユラックス熱海）
（12）保育所給食関連研修	135 名	（郡山ユラックス熱海）
（13）保育所指導管理者研修	82 名	（郡山ユラックス熱海）
3. 訪問介護員現任研修（5 コース）		
（1）訪問介護員初任者研修	139 名	（ビッグパレットふくしま）
（2）訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅰ	145 名	（ビッグパレットふくしま）
（3）訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ	124 名	（ビッグパレットふくしま）
（4）訪問介護適正実施研修Ⅰ	129 名	（ビッグパレットふくしま）
（5）訪問介護適正実施研修Ⅱ	116 名	（ビッグパレットふくしま）
4. 社会福祉協議会職員研修（12 コース）		
（1）社会福祉協議会職員研修会（基礎編）	41 名	（県総合社会福祉センター）
（2）社会福祉協議会職員研修会（管理編）	35 名	（県総合社会福祉センター）
（3）コミュニティソーシャルワーク研修	21 名	（県青少年会館）
（4）生活福祉資金担当職員研修	41 名	（県総合社会福祉センター）
（5）市町村社協経営・財務研修	78 名	（県総合社会福祉センター）
（6）市町村社協労務管理研修	22 名	（県総合社会福祉センター）
（7）災害ボランティアセンター運営講座	63 名	（県男女共生センター）
（8）生活支援相談員基礎研修	60 名	（ビッグパレットふくしま）
（9）生活支援相談員チーフ研修	36 名	（県総合社会福祉センター）
（10）生活支援相談員テーマ別研修	194 名	（県総合社会福祉センター他）
（11）日常生活自立支援事業専門員（担当職員）研修	21 名	（県青少年会館）

(12) 日常生活自立支援事業生活支援員実働者研修	47 名 (ビッグパレットふくしま)
5. 法人・施設等役職員研修 (4 コース)	
(1) 社会福祉法人理事研修	135 名 (郡山ユラックス熱海)
(2) 社会福祉法人監事研修	102 名 (郡山ユラックス熱海)
(3) 社会福祉法人事務長等研修	136 名 (ビッグパレットふくしま)
(4) 社会福祉トップセミナー (社協役員)	194 名 (ビッグパレットふくしま)
6. 課題別専門分野研修 (12 コース)	
(1) 職場研修担当職員研修	66 名 (県総合社会福祉センター)
(2) 職場研修担当職員フォローアップ研修	66 名 (県総合社会福祉センター)
(3) キャリアパス制度理解研修	204 名 (ビッグパレットふくしま)
(4) キャリアパス制度導入研修	124 名 (ビッグパレットふくしま他)
(5) キャリアパス見直し研修	66 名 (県総合社会福祉センター他)
(6) 介護プリセプター先進事例研修	158 名 (ビッグパレットふくしま)
(7) 介護プリセプター導入研修	74 名 (県総合社会福祉センター他)
(8) 介護プリセプター模擬研修	72 名 (県総合社会福祉センター他)
(9) ボランティア受入福祉施設等担当者研修	80 名 (ウィル福島)
(10) 職場におけるストレスマネジメント研修	67 名 (県総合社会福祉センター)
(11) 福祉サービス第三者評価～自己評価～研修	95 名 (県総合社会福祉センター)
(12) 福祉サービスに関する苦情解決研修会 (4 回)	464 名 (ウィル福島他)
7. 社会福祉法人監督者・評価者研修 (2 コース)	
(1) 社会福祉法人監督職員研修	43 名 (県総合社会福祉センター)
(2) 福祉サービス第三者評価調査者向上研修	29 名 (県総合社会福祉センター)
8. 民生児童委員研修 (6 コース)	
(1) 新任民生児童委員研修	1,227 名 (ビッグパレットふくしま他)
(2) 中堅民生児童委員研修	336 名 (ビッグパレットふくしま他)
(3) 主任児童委員研修	370 名 (郡山ユラックス熱海 他)
(4) 民生児童委員相談援助技法研修	399 名 (ビッグパレットふくしま他)
(5) 民生児童委員協議会会長研修	173 名 (飯坂ホテル聚楽)
(6) 新任民生委員児童委員会会長研修	97 名 (県青少年会館)

イ) 各種別部会・協議会との連携の充実

社会福祉研修事業運営委員会の開催 (1 回 3 月)

1. 福祉研修事業運営委員会の開催

期日: 3 月 19 日

内容: 平成 25 年度社会福祉研修事業実施状況について

平成 26 年度社会福祉研修事業実施計画 (案) について

2. 福祉職員生涯研修講師打合せ会

(1) 初任者研修

期日: 6 月 19 日

内容: 研修の進め方について

(2) 中堅職員研修

期日: 5 月 24 日

内容: 研修の進め方について

(3) チームリーダー研修

期日: 8 月 6 日

内容: 研修の進め方について

(4) 次年度研修

期日：3月19日

内容：平成25年度事業実施状況報告等について

平成26年度キャリアパス対応生涯研修課程プログラムについて

平成26年度福祉職員生涯研修の役割分担等について

3. 介護プリセプター検討・普及委員会

【第1回】

期日：9月30日

内容：本事業の趣旨等について

各法人（施設）における新入職員研修の取り組みについて

0JT導入済み法人調査について

介護プリセプター先進事例研修について

平成25年度福祉人材定着促進事業補助金の審査について

【第2回】

期日：10月31日

内容：介護プリセプター先進事例（新入職員向け0JT）研修について

介護プリセプター導入（新入職員向け0JT）プログラム策定

【第3回】

期日：11月26日

内容：介護プリセプター導入（新入職員向け0JT）研修について

介護プリセプター模擬（新入職員向け0JT）研修について

次年度事業（予算）について

【第4回】

期日：3月10日

内容：今年度事業の評価について

次年度事業について

②生涯研修及び職場内研修の充実

ア) 指導者の継続的養成・確保

全社協中央福祉学院主催「福祉職員生涯研修指導者養成研修の受講

1. 全社協中央福祉学院「キャリアパス対応福祉職員生涯研修指導者養成研修」の受講

期日：4月20日～22日

会場：中央福祉学院「ロフォス湘南」

派遣者：1名

2. 全社協中央福祉学院「平成25年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程講師フォローアップ研修会」の受講

(1) 福島会場（県総合社会福祉センター）

期日：5月17日 参加者：19名

(2) 東京会場（全社協）

期日：6月6日 参加者：3名

イ) 職場内研修支援の充実

各社会福祉施設等職場内研修指導者派遣の実施（年間10回 適宜対応）

1. 特別養護老人ホーム国見の里（国見町）接遇コミュニケーション研修（4月2日） 6名

2. 福島わかば保育園（福島市）職場研修推進方法等研修（6月26日） 22名

3. 三春町社会福祉協議会（三春町）接遇マナー研修（10月29日） 50名
4. 特別養護老人ホーム伊達すりかみ荘（伊達市）接遇マナー研修（11月7日） 40名

③地域介護専門職員研修の実施

ア) 研修内容の充実

地域介護専門職員研修（9コース）

- | | |
|----------------------------|----------------|
| （1）介護講習等企画担当者研修（地域アセスメント編） | 28名（県男女共生センター） |
| （2）介護講習等企画担当者研修（企画・広報編） | 22名（県男女共生センター） |
| （3）相談援助面接研修（初級編） | 95名（県男女共生センター） |
| （4）相談援助面接研修（中級編） | 37名（県男女共生センター） |
| （5）相談援助面接研修（実践・指導編） | 15名（県男女共生センター） |
| （6）福祉用具・住宅改修研修 | 23名（県男女共生センター） |
| （7）排泄ケア研修（在宅編） | 27名（県男女共生センター） |
| （8）排泄ケア研修（施設編） | 46名（県男女共生センター） |
| （9）喀痰吸引等基本研修 | 49名（県男女共生センター） |

基本目標 4＞ 福祉サービスの質の向上に向けた支援
【推進項目 8】社会福祉従事者の福利厚生への推進

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）					
実施状況					
① 社会福祉従事者施設団体職員共済事業の運営					
ア) 資産の外部委託運用					
資産の外部委託運用（随時・通年）					
三菱UFJ信託銀行からの運用状況の受理					
平成 24 年度第 4 四半期分（5 月 1 日）					
平成 25 年度第 1 四半期分（7 月 31 日）					
平成 25 年度第 2 四半期分（11 月 7 日）					
平成 25 年度第 3 四半期分（1 月 30 日）					
契約者への運用状況の報告（毎月 1 回）					
毎月 1 回発送					
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容					
運営委員会の開催					
【第 1 回】 期日：5 月 22 日					
内容：資産運用状況について					
平成 24 年度事業報告について					
平成 24 年度収入支出決算報告について					
平成 25 年度収入支出補正予算（案）について					
【第 2 回】 期日：7 月 3 日					
内容：資産の運用について					
【第 3 回】 期日：9 月 17 日					
内容：資産運用状況について					
平成 25 年度事業中間報告					
平成 25 年度収入支出補正予算（案）について					
仕組債の売却について					
【第 4 回】 期日：3 月 12 日					
内容：資産運用状況について					
平成 25 年度補正予算（案）について					
平成 26 年度事業計画（案）・収支予算（案）について					
東日本大震災による支払免除の取扱いについて					
各種給付事業の実施（毎月 1 回決定・送金）					
1. 退会給付金	1,078 件	1,060,864 千円	(1,087 件	1,102,332 千円)	※（ ）内は前年度実績
2. 結婚祝金	282 件	5,640 千円	(237 件	4,740 千円)	
3. 出産祝金	402 件	4,040 千円	(345 件	3,460 千円)	
4. 弔慰給付金	12 件	240 千円	(13 件	260 千円)	
5. 傷病見舞金	10 件	100 千円	(12 件	120 千円)	
6. 災害見舞金	6 件	120 千円	(70 件	1,400 千円)	

資金貸付事業の実施（毎週1回決定・送金）		
1. 一般資金	52件 34,100千円（46件 34,070千円）	※（ ）内は前年度実績
2. 住宅資金	0件（2件 7,600千円）	
事務説明会の実施		
期 日：12月2日（ビッグパレットふくしま）		
参加者：83名		
事務取扱い手引きの改訂・作成		
300部作成し、事務説明会にあわせて配布。		
②社会福祉施設職員等退職手当共済事業の事務受託		
ア）受託事務の実施		
実務研修会の実施		
期 日：12月2日（ビッグパレットふくしま）		
参加者：70名		
受託団体事務打合せへの参加		
期日：2月7日（東京都）		
③福利厚生センター事業の充実		
ア）充実した福利厚生サービスの提供		
企画・情報会議の開催（2回 7、3月）		
【第1回】 期日：7月31日		
内容：平成24年度福利厚生センター事業報告について		
ディナーパーティー実施について		
ソウェルクラブ「クラブオフ」の会員登録について		
【第2回】 期日：3月6日		
内容：平成26年度福利厚生センター事業計画(案)について		
平成26年度旅行企画の採択について		
会員交流事業の実施（9回 6～12月）		
1. 東北楽天ゴールデンイーグルス団体観戦（VS ソフトバンク）		
期日：6月23日 参加者：47名		
2. 劇団四季「キャッツ」仙台公演		
期日：6月28日 参加者：60名（申込者126名）		
3. 大人のプチ修学旅行		
期日：7月4日～5日 参加者：69名		
会場：横浜・東京方面		
4. 夏休みの思い出 in レジーナの森		
期日：8月1～2日 参加者：11名		
5. 日帰りリフレッシュプラン		
実施期間：7月18日～9月27日 利用者：155名		
会 場：ホテルグランデコ、空の庭プチホテル、羽鳥湖高原レジーナの森		

6. 劇団四季「リトルマーメイド」東京観劇日帰りツアー 期日：9月13日 参加者：60名 7. ユアテックスタジアムで応援！ベガルタ仙台団体観戦 期日：9月28日 参加者：46名 8. ハロウィンを満喫！ディズニーリゾート2日間 期日：10月1～2日 参加者：57名 9. ディナーパーティー 期日：10月25日～11月15日 参加者：413名 会場：県内26ヵ所 10. 家族で楽しむディズニークリスマス 期日：11月30日 参加者：79名	
家庭用常備薬の斡旋（7～11月）	
【第1回】	実施時期：6月7日～28日 利用事業所：219ヵ所
【第2回】	実施機関：10月11日～11月6日 利用事業所：ヵ所
福利厚生センター全国会議への参加	
期日：4月25日（東京都）	
イ）未加入法人への加入促進	
未加入法人への加入促進（随時 通年）	
新規加入：1法人	

基本目標 5 > 福祉力向上にむけての協働・支援
 【推進項目 9】市町村社会福祉協議会との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①市町村社協への経営支援 ア）会計・法律・労務等に対応した研修・会議・相談事業の強化 経営・財務、労務管理研修会
1. 労務管理研修会 期日：7月2日 参加者：28名（県総合社会福祉センター）
2. 会計研修会 期日：10月25日 参加者：78名（県総合社会福祉センター）
相談・個別訪問事業の実施
1. 法人運営・体制・会計事務について 12回 2. 市町村社協役員研修について 2回 3. 地域福祉活動計画策定について 3回（二本松市、白河市社協） ※25年度策定社協：二本松市、白河市
会議の開催
双葉郡内各町村社会福祉協議会における情報交換 期日：7月31日（郡山市富田町仮設住宅内集会所）
②市町村社協連絡協議会活動の充実 ア）市町村社協連絡協議会の自主的活動の充実 会長会（全体会）の開催
【第1回】 期日：6月7日（県男女共生センター） 【第2回】 期日：3月5日（ビッグパレットふくしま）
事務局長会役員会の開催 期日：7月1日（県総合社会福祉センター）
社会福祉協議会による成年後見制度（法人後見等）の取組み状況視察研修 期日：12月4日（山形市社協）
地区連絡会の開催
事務局長会及び専門委員会方部別会議の開催 県南方部：1月22日（白河市） 県北方部：1月23日（二本松市） 会津・南会津方部：1月24日（会津若松市） 相双方部：1月28日（福島市） 県中方部：1月31日（郡山市）
専門委員会の開催【新規】

【第1回】

期日：8月31日

内容：委員長・副委員長の互選について
委員会において取組む事案について

【第2回】

期日：11月1日

内容：委員会スケジュールの確認について
取り組みテーマの検討
①災害協定書の細則作成の検討
②社協職員研修体系・カリキュラムの検討

【第3回】

期日：2月14日

内容：市町村社協連絡協議会事務局長地区連絡会並びに専門委員会方部会議の報告
①災害協定書の細則作成の検討
②社協職員研修体系・カリキュラムの検討
論点整理

社会福祉トップセミナー

期日：3月5日（ビッグパレットふくしま）

日常生活自立支援事業に関する要望書提出及び説明会（再掲）【追加事業】

要望書提出（7月11日 県庁内）

④市町村社協における人材養成・研修の推進

ア）専門性の高い内容・新たな福祉課題へ対応していくための研修実施
社協職員研修（基礎編）

期日：7月5日 参加者：28名（県総合社会福祉センター）

社協職員研修（応用編）（再掲）

期日：9月27日 参加者：21名（県青少年会館）

※あんしんサポート（日常生活自立支援事業）担当職員研修会（9月26日）併催

社協職員研修（管理編）

期日：1月9日・10日 参加者：44名（ホテル聚楽）

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容
市町村社協職員便覧の作成

市町村社協職員便覧の作成

部数：900部 配布先 市町村社協、県社会福祉課、各保健福祉事務所等

全国会議・ブロック会議等への参加（随時 通年）

都道府県・指定都市社協部・課・所長会議（4月25～26日 東京都）

北海道・東北ブロック地域福祉担当部課長会議（2月12日～13日 北海道）

【推進項目 10】社会福祉施設等との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①社会福祉施設等との連携 ア) 部会・協議会活動の充実 老人福祉施設協議会活動の充実	
1. 総会の開催 期日：5月16日（郡山市） 2. 監事会の開催 期日：4月24日（福島市） 3. 役員会の開催 【第1回】期日：4月24日（福島市） 【第2回】期日：7月24日（福島市） 【第3回】期日：10月3日（福島市） 【第4回】期日：12月5日（福島市） 【第5回】期日：2月27日（郡山市） 4. 復興委員会の開催 【第1回】期日：7月24日（福島市） 【第2回】期日：12月5日（福島市） 5. 東北ブロック老人福祉施設大会 期日：5月16～17日（郡山市） 参加者 245 名 6. 東北ブロック老人福祉施設研究会実行委員会（研究・研修委員会） 【第1回】期日：8月9日（郡山市） 【大会視察】期日：9月5日～6日（仙台市） 【第2回】期日：10月18日（郡山市） 【第3回】期日：12月5日（福島市） 【第4回】期日：2月21日（郡山市） 7. 研修会の開催 （1）在宅部会職員研修会「介護送迎担当者安全運転講習」 県北地区 6月14日 参加者 13 名（福島市） 会津地区 6月25日 参加者 17 名（会津若松市） 県中地区 11月8日 参加者 20 名（郡山市） （2）生活相談員研修会 期日：6月7日 参加者 126 名（福島市） （3）機能訓練担当者研修会 期日：7月26日 参加者 79 名（福島市） （4）給食担当者研修会 期日：9月10日 参加者 84 名（いわき市） （5）災害時におけるリスクマネジメントとBCP 期日：9月24日～25日 参加者 70 名（郡山市） （6）医務担当職員研修会 期日：10月4日 参加者 70 名（会津若松市） （7）介護職員研修会（4年未満）	

期日：10月7日 参加者 112 名（福島市）

(8) 主任介護職員研修会

期日：10月12日 参加者 107 名（郡山市）

(9) 施設介護支援専門員研修会

期日：10月22日 参加者 100 名（会津若松市）

(10) 事務担当職員研修会

期日：11月8日 参加者 82 名（矢吹町）

(11) 介護職員研修会（4年以上）

期日：11月18日～19日 参加者 96 名（郡山市）

(12) 施設長研修会

期日：2月27日～28日 参加者 104 名（郡山市）

8. 要望活動

【第1回作業部会】期日：7月24日（福島市）

【第2回作業部会】期日：9月2日（福島市）

【県に対する要望書提出および各担当課との懇談会】期日：9月12日（福島市）

9. 相双地域等介護職員応援事業の実施

※別掲

10. 災害時施設相互応援協定締結式

期日：1月21日（福島市）

11. 東京電力に対する原子力損害賠償に関する要望書の提出

期日：3月17日（福島市）

12. 復興支援事業の実施

13. 本発行への協力

「避難弱者」取材、発行への協力

障がい児者福祉施設協議会活動の充実

1. 総会の開催

期日：4月26日（郡山市）

2. 監事会の開催

期日：4月26日（郡山市）

3. 役員会の開催

【第1回】期日：5月29日（郡山市）

【第2回】期日：7月8日（郡山市）

【第3回】期日：12月10日（郡山市）

【第4回】期日：3月10日（郡山市）

4. 調査広報委員会

【第1回】期日：6月17日（郡山市）

【第2回】期日：7月29日（郡山市）

【第3回】期日：9月24日（郡山市）

【第4回】期日：12月12日（郡山市）

5. 健康管理等企画運営委員会

【第1回】期日：6月24日（郡山市）

【第2回】期日：7月26日（郡山市）

【第3回】期日：10月4日（郡山市）

【第4回】期日：12月2日（郡山市）

6. 研修委員会

【第1回】期日：6月24日（郡山市）

【第2回】期日：8月7日（郡山市）

7. 調査の実施

「障がい児者施設（事業所）における感染症に関するアンケート調査」

調査期間：8月19日～9月3日

調査対象：106施設（会員施設）

回答施設：84施設（79.2%）

報告書の作成：200部

8. 研修会の開催

送迎担当者安全運転講習会（県内4方部）

【第1回】期日：7月12日（会津若松市） 参加者5名

【第2回】期日：7月25日（福島市） 参加者7名

【第3回】期日：10月15日（いわき市） 参加者8名

【第4回】期日：10月28日（郡山市） 参加者12名

職場におけるメンタルヘルス対策

期日：10月16日（郡山市） 参加者34名

感染症研修

期日：12月2日（郡山市） 参加者55名

9. 広報誌等の発行

「すまいる通信 4号」の発行 500部

「いろんなふつうを考えてみよう」障がい者理解啓蒙リーフレットの発行 20,000部

10. 避難及び被災福祉施設への訪問

特定非営利活動法人アクセスホームさくら（6月21日）

社会福祉法人福島県社会福祉事業団（6月21日）

社会福祉法人福島県福祉事業協会（6月25日）

社会福祉法人友愛会（6月26日）

地域包括・在宅介護支援センター協議会活動の充実

1. 総会の開催

期日：5月22日（郡山市）

2. 監事会の開催

期日：5月22日（郡山市）

3. 役員会の開催

【第1回】期日：7月31日（郡山市）

【第2回】期日：3月12日（郡山市）

4. 研修委員会の開催

【第1回】期日：5月7日（郡山市）

【第2回】期日：7月31日（郡山市）

【第3回】期日：3月12日（郡山市）

5. 企画広報委員会の開催

【第1回】期日：10月30日（郡山市）

【第2回】期日：1月17日（二本松市）

6. 研修会の開催

（1）初任者研修 期日：6月4、5日（郡山市） 参加者71名

（2）現任者研修 期日：10月11日（郡山市） 参加者58名

7. 広報誌の発行

「Activeふくしま」(第2号)の発行 500部

8. 東北ブロック

(1) 地域包括・在宅介護支援センター協議会会長等合同会議

【第1回】期日：7月3日(青森市)

【第2回】期日：11月14日(青森市)

【第3回】期日：3月13日(青森市)

(2) 地域包括・在宅介護支援センター研修会

期日：11月14～15日(青森市)

児童福祉施設部会の充実

1. 総会の開催

期日：5月20日(福島市)

2. 監事会の開催

期日：5月20日(福島市)

3. 定例会の開催

【第1回】期日：7月30日(福島市)

【第2回】期日：12月20日(福島市)

【第3回】期日：2月25日(福島市)

4. 職員研究会活動

(1) 職員研究会総会(4月12日 郡山市)

(2) 第1回各種行事委員会(5月10日 福島市)

(3) 第1回心理職員等研修会(5月23日 郡山市)

(4) 第1回調査広報委員会(6月6日 郡山市)

(5) 第1回職員研修会(7月18日 会津若松市)

(6) 事務職員等研修会(8月29日 棚倉町)

(7) 第2回心理職員等研修会(9月25日 福島市)

(8) 第2回調査広報委員会(10月17日 郡山市)

(9) 第2回職員研修会(10月25日 白河市)

(10) 給食担当職員等研修会(11月7日～8日 福島市)

(11) 施設視察研修会(11月14日～15日 郡山市、棚倉町)

(12) 第3回職員研修会(12月5日～6日 いわき市)

(13) 第3回調査広報委員会(1月10日 郡山市)

(14) 第3回各種行事委員会(2月21日 福島市)

(15) 第3回心理職員等研修会(2月26日 福島市)

(16) 職員研究会役員会(3月4日 郡山市)

5. 児童福祉論集「まなざし第38巻」の発行

6. 第33回児童福祉施設交歓球技大会(10月12日 いわき市)

7. 聖マリア児童福祉基金による助成

(1) 運営委員会(3月24日 福島市)

(2) 助成対象児童の決定 33名

母子生活支援施設部会の充実

1. 総会の開催

期日：5月9日(福島市)

2. 監事会の開催

期日：5月9日（福島市）

3. 平成25年度北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会の開催

期日：9月19日、20日（福島市「福島ビューホテル」 参加者66名）

社会福祉法人経営者協議会活動の充実

1. 総会の開催

【第1回】期日：7月1日（福島市）

【第2回】期日：3月4日（郡山市）

2. 社会福祉セミナー

【第1回】期日：7月1日（福島市）

【第2回】期日：3月4日（郡山市）

3. 正・副会長会議の開催

【第1回】期日：6月27日（福島市）

【第2回】期日：11月11日（福島市）

【第3回】期日：12月18日（福島市）

【第4回】期日：2月6日（福島市）

4. 理事会の開催

【第1回】期日：6月27日（福島市）

【第2回】期日：11月1日（福島市）

【第3回】期日：2月6日（福島市）

5. 監事会の開催

期日：6月18日（福島市）

6. 全国社会福祉法人経営者大会への参加

期日：9月19日～20日（高松市）

7. 全国経営協ブロック会議への参加

期日：8月26、27日（岩手県盛岡市）

8. 北海道・東北ブロックセミナーの開催（郡山市）

期日：11月21日～22日（郡山市） 参加者220名

9. 社会福祉法人経理担当職員研修

期日：11月11日（郡山市） 参加者181名

10. 社会福祉施設接遇指導者研修

期日：2月27日～28日（福島市） 参加者24名

イ) 被災福祉施設への支援

相双地域等介護職員応援事業

1. 応援職員受け入れ施設

特別養護老人ホーム長寿荘（南相馬市）

特別養護老人ホーム福寿園（南相馬市）

特別養護老人ホーム竹水園（南相馬市）

介護老人保健施設長生院（南相馬市）

特別養護老人ホームいいたてホーム（飯舘村）

特別養護老人ホーム花ぶさ園（広野町）

老人保健施設シーサイドパインビレッジ（いわき市）

2. 応援職員の状況（4月1日～3月31日）

都道府県 36 都府県

北海道・青森県・秋田県・山形県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・大阪府・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・広島県・山口県・香川県・愛媛県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

法人数 156 法人

延べ人数 241 名

ウ) 社会福祉関係団体との連携・協働

社会福祉関係団体との連携・協働

1. 全国経営協と被災社会福祉法人等との意見交換会

期日：4月30日（南相馬市）

2. 東北厚生局との意見交換会

期日：6月20日（郡山市）

②社会福祉事業等経営相談支援事業

ア) 相談支援体制の充実

経営専門相談事業（随時）

1. 会計経営相談 52件（58件） ※（ ）内は前年度実績

2. 法律等相談 0件（0件）

3. 労務等相談 1件（7件）

イ) 相談内容の整理分析

経営支援事業

新会計基準への移行が行われている時期であり、特に決算に関する実務的な相談が多く寄せられた。

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

福祉事業経営支援事業（事業運営）（随時 通年）

ストレスマネジメント研修

期日：9月18日～19日 参加者 67名（県総合社会福祉センター）

広報講習会

期日：11月25日～26日 参加者 35名（県総合社会福祉センター）

認知症高齢者対応研修

期日：10月2日 参加者 189名（郡山ユラックス熱海）

基本目標 5 > 福祉力向上に向けての協働・支援
 【推進項目 11】 民生委員・児童委員との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
① 民生委員・児童委員活動の支援	
ア) 困難ケースに対応した研修の企画、実施	
相談援助研修会（3 回 1 日）	
【第 1 回】 期日：8 月 28 日	参加者：124 名（会津アピオ）
【第 2 回】 期日：9 月 25 日	参加者：107 名（ウィル福島）
【第 3 回】 期日：9 月 30 日	参加者：168 名（ビックパレットふくしま）
中堅民生委員研修（1 回 1 日・3 方部）	
期日：6 月 24 日～25 日	参加者：173 名（ホテル聚楽）
中堅民生委員研修（1 回 1 日・3 方部）	
【県北方部】 期日：8 月 1 日	参加者：119 名（ウィル福島）
【県中・県南方部】 期日：7 月 14 日	参加者：129 名（ビックパレットふくしま）
【会津・南会津方部】 期日：7 月 19 日	参加者：88 名（会津アピオ）
新任民生委員研修（6 回 1 日・6 方部）	
【第 1 回】 期日：12 月 13 日	参加者：324 名（会津アピオ）
【第 2 回】 期日：12 月 17 日	参加者：76 名（下郷町ふれあいセンター）
【第 3 回】 期日：12 月 19 日	参加者：149 名（JA しらかわセレモニープラザ）
【第 4 回】 期日：1 月 8 日	参加者：242 名（ビックパレットふくしま）
【第 5 回】 期日：1 月 20 日	参加者：329 名（福島グリーンパレス）
【第 6 回】 期日：1 月 24 日	参加者：109 名（相馬市総合福祉センター「はまなす館」）
新任民生児童委員協議会会長研修（1 回 1 日）	
期 日：2 月 27 日	参加者：97 名（県青少年会館）
イ) 県民児協・重点活動方策への協力	
市町村民児協活動支援（24 回程度）	
1. 会津地方民生委員会長連絡会（7 月 2 日）	
2. 喜多方市民生児童委員連合会第 1 回生活福祉部会（7 月 23 日）	
3. 桑折町民生委員協議会定例会（9 月 7 日）	
4. 伊達市保原方部民生委員協議会定例会（9 月 8 日）	
5. 三島・金山・昭和合同民生委員研修会（9 月 13 日）	
6. 白河市東方部民生児童委員協議会定例会（10 月 23 日）	
7. 浪江町民生委員協議会定例会（11 月 8 日）	
8. 伊達市梁川方部民生委員協議会定例会（1 月 10 日）	
9. 大熊町民生児童委員協議会定例会（1 月 15 日）	
10. 白河市民生児童委員連絡協議会定例会（1 月 27 日）	
11. いわき市 新任民生委員・児童委員研修会（1 月 30 日）	

12. 桑折町民生委員協議会定例会（2月5日）
13. いわき市 中堅民生委員・児童委員研修会（2月12日）
14. 泉崎村民生児童委員協議会定例会（2月25日）

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①適正な法人運営	
ア) 理事会・評議員会・監事会機能の充実	
理事会（5回） 評議員会（4回） 監事会（2回）	
1. 理事会	
【第1回】	
期日：4月1日	
内容：会長並びに副会長の選任、会長職務代理者の選任	
【第2回】	
期日：5月27日	
内容：24年度事業報告、24年度一般会計収入支出決算報告、24年度特別会計収入支出決算報告、25年度一般会計第1次補正予算案、25年度特別会計第1次補正予算案、保育士修学資金貸付規程の制定	
【第3回】	
期日：6月19日	
内容：共済事業における資産運用、本会職員の退職手当の見直し、全国ボランティアフェスティバル開催に向けた取り組み経過	
【第4回】	
期日：9月26日	
内容：25年度事業中間報告、資産運用報告、本会職員退職手当の見直し、25年度一般会計第2次補正予算案、25年度特別会計第2次補正予算案、諸規定等の一部改正、契約の承認、評議員の委嘱の同意	
【第5回】	
期日：12月16日	
内容：25年度事業中間報告、総合社会福祉センター耐震工事の概要、東日本大震災に関する社会福祉功労表彰式の開催、全国ボランティアフェスティバル開催に向けた取り組み経過、25年度一般会計第3次補正予算案、25年度特別会計第3次補正予算案、諸規定等の一部改正、評議員の委嘱の同意	
【第6回】	
期日：3月17日	
内容：25年度一般会計第4次補正予算案、25年度特別会計第4次補正予算案、26年度事業計画案、26年度一般会計予算案、26年度特別会計予算案、「県外からの福祉・介護人材に対する奨学金貸付規程」の制定、経理規程の一部改正、契約の承認	
2. 評議員会	
【第1回】	
期日：5月27日	
内容：24年度事業報告、24年度一般会計収入支出決算報告、24年度特別会計収入支出決算報告、25年度一般会計第1次補正予算案、25年度特別会計第1次補正予算案、理事の選任	
【第2回】	
期日：6月19日	
内容：共済事業における資産運用、本会職員の退職手当の見直し、全国ボランティアフェスティバル開催に向けた取り組み経過	

【第3回】

期日：9月26日

内容：25年度事業中間報告、資産運用報告、本会職員退職手当の見直し、25年度一般会計第2次補正予算案、25年度特別会計第2次補正予算案、理事の選任

【第4回】

期日：12月16日

内容：25年度事業中間報告、総合社会福祉センター耐震工事の概要、東日本大震災に関する社会福祉功労表彰式の開催、全国ボランティアフェスティバル開催に向けた取り組み経過、職員退職手当の改正概要、25年度一般会計第3次補正予算案、25年度特別会計第3次補正予算案

【第5回】

期日：3月17日

内容：25年度一般会計第4次補正予算案、25年度特別会計第4次補正予算案、26年度事業計画案、26年度一般会計予算案、26年度特別会計予算案、理事の選任

3. 監事による監査

【第1回】

期日：5月16日

内容：理事の業務執行の状況、法人の財産の状況（24年度決算）

【第2回】

期日：12月10日

内容：25年度中間事業報告、25年度一般会計及び特別会計収支状況報告

イ) 専門機関との連携（随時 通年）

適正な法人運営のため、社会保険労務士や公認会計士等との連携。

ウ) 福島県総合社会福祉センターの運営

耐震診断結果及び耐震補強計画に基づく補強工事の実施

工期：12月2日～3月31日

委託先：（工事請負）株式会社穴戸工務店

（監理業務）財団法人ふくしま市町村建設支援機構

②個人情報保護・苦情解決体制

ア) 職員への啓発

個人情報保護に関する方針の徹底（随時）

「個人情報取扱い業務概要説明書」等の見直し検討。

③会員制度

ア) 一般会員の加入促進

未加入施設・事業所への積極的な加入促進（随時）

平成25年度新規会員施設・事業所：16ヵ所

イ) 特別賛助会員の加入促進

未加入企業への積極的な加入促進（随時）

平成25年度新規会員：10ヵ所

財政基盤

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①安定的な財政基盤の確立	
ア) 補助金・受託金の確保	
26 年度必要な補助金・受託金確保のための予算要望活動（1 回 9 月）	
平成 26 年度県予算編成に対する要望活動（再掲）	
期日：9 月 6 日	
要望先：県保健福祉部長、県子育て支援担当理事	
個別回答：10 月 11 日	
イ) 自主財源の確保	
幹旋・紹介手数料等の増収（随時）	
自動車リース	
目標：年間 30 台の新規リース契約	実績：新規登録台数 31 台
ウ) 民間資金の活用	
赤い羽根共同募金を財源とした事業展開（4 月～3 月）	
1. はあとふるふくしま発行事業（7,740,000 円）	
2. 第 17 回ボランティアフェスティバル開催事業（1,020,000 円）	
3. 地域で取り組む福祉教育推進事業（600,000 円）	
4. 北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会開催事業（400,000 円）	
5. 中学生版「福祉・介護の仕事ガイドブック」作成事業（1,200,000 円）	
6. 福祉の仕事紹介DVD製作事業（1,200,000 円）	
エ) 事務費コストの削減	
消耗品の単価契約等の実施	
紙の値段が上がっているため、印刷用紙・コピー用紙の単価契約については前年度の契約金額を引き継いだ。	
オ) 財政検討会の設置	
本会財政の適正かつ永続的安定に向けた検討（月 2 回 ～12 月）	
前年度に引き続き財政検討会を設置、開催。	
【第 1 回】 7 月 24 日（今年度重点的に取り組む項目、役割分担とスケジュール等）	
【第 2 回】 9 月 27 日（人件費シミュレーションの結果、自主財源確保策の検討）	
【第 3 回】 11 月 21 日（自主研修の検討）	
【第 4 回】 12 月 24 日（県補助委託事業における事業費の積算）	
【第 5 回】 12 月 25 日（最終報告の確認）	

事務局体制

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①事務局体制の充実強化 ア）事務局組織・分掌事務の検証 事務局組織・事務分掌の検証（随時） 事業展開、組織体制を検討することを目的に「将来構想委員会」を事務局内に設置。 【第1回】 6月26日 【第2回】 7月24日 【第3回】 8月21日 【第4回】 9月25日 【第5回】 10月23日 【第6回】 12月5日
衛生委員会の開催 4月23日 「平成25年度活動計画（案）について」 5月15日 「職場での軽運動の取り組みについて」 6月19日 「夏季に向けた職場環境の改善」 7月17日 「定期健康診断の実施について」 8月21日 「職場におけるストレスマネジメント」 9月18日 「職場環境のチェックについて」 10月15日 講演会「健康をつくる毎日の食事、生活習慣」 11月20日 「冬季に向けた職場環境の改善」 12月18日 「健康管理に関する職員アンケートの内容について」 1月29日 「健康診断結果（速報版）」「健康管理に関する職員アンケートの結果について」 2月26日 「職場におけるメンタルヘルスについて」 3月24日 産業医への個別相談会
イ）職員の資質向上 全体研修計画に基づいた個人研修の実施（随時） 社会福祉士通信課程の受講：2名 社会福祉協議会会計実務講座通信課程（初級）の受講：1名
全国・ブロック会議・研修会等への参加 1. 都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー（7月25・26日 神奈川県） 2. 都道府県・指定都市社協総務担当部・課長会議（9月2・3日 東京都） 3. 北海道・東北ブロック社協・共募事務局長合同会議（9月10・11日 宮城県）